

令和6年度 中央区地域力向上事業(助成事業) 事後評価【中地域】

No.	事業名	団体名	評価					総事業費	市執行額 (補助金額)	採択回数
			達成度	活用度	貢献度	支援の 妥当性	費用対 効果			
1	歌のすきな子あつまれ～♪浜松 キッズコーラス講座	浜松キッズコーラス実行委員会	A	A	A	A	A	274,727円	106,000円	2回目
2	第12回ハイスchoolジオラマグラン プリ	特定非営利活動法人 はままつ 未来会議	A	A	A	A	A	359,790円	126,000円	2回目
3	インド浜松フェスティバル	インドはままつ国際交流委員会	B	B	A	B	B	3,136,200円	1,575,000円	1回目
4	浜松ブルースフェスティバル2024	浜松ブルース振興会	B	A	A	A	B	1,458,453円	348,000円	3回目
5	環境・社会・次世代育成事業	ALL BLUE project	B	B	B	B	B	248,304円	124,000円	1回目
6	和の祭典～着物フェスティバル～in ソラモ	和の祭典実行委員会	A	B	B	B	B	3,478,161円	1,367,000円	2回目
7	浜松メディカルラリー(医療者・市 民・こども)	#こども救命士になろうプロジェ クト	B	B	B	B	B	703,094円	221,000円	1回目
8	利実り～とぎみのり～	NPO法人 伝承會	A	A	A	B	B	450,727円	177,000円	2回目
9	中野吉之伴氏 サッカー指導者向 け 実技講習会	hamamatsu-play-park	B	B	B	B	A	145,051円	71,000円	1回目
10	レコードジャケット&トークショー	昭和のレコードを聴く会	B	A	A	B	B	475,807円	189,000円	2回目
11	虹彩よさこい	虹彩よさこい実行委員会	B	A	B	B	B	4,171,378円	1,850,000円	1回目
合計								14,901,692円	6,154,000円	

地域力向上事業の評価基準について

評価項目	評価		
事業目的の達成度	A 高い	B 普通	C 低い
地域資源の活用度	A 高い	B 普通	C 低い
地域への貢献度	A 高い	B 普通	C 低い
財政支援の妥当性	A 高い	B 普通	C 低い
費用対効果	A 高い	B 普通	C 低い

助成事業 No. 1

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	歌のすきな子あつまれ～♪浜松キッズコーラス講座	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	浜松キッズコーラス実行委員会											
(4)事業の目的	・音楽が好きな子供たちへ音楽(合唱)講座を開催することで、音楽に関する能力を高めると同時に、学年の枠を超え異なる学校の児童との交流を通じて、地域や世代の繋がり、文化薫る地域づくりに繋げていく。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>歌のすきな子あつまれ～♪浜松キッズコーラス講座</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年7月14日(日)～令和6年9月7日(土)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>クリエート浜松、音楽工房ホール</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・中央区を中心に市内の小中学生を募集し、全5回(うち1回発表会)のキッズコーラス講座を開催 ・5回の講座を通して、静岡県や浜松市にまつわるふるさとの歌を交え、10曲の合唱曲に挑戦した。 ・異なる学年、学校の児童生徒同士の交流が深まり、回を重ねるごとに友達の輪が広がった。 ・団体スタッフ3名、参加者35名、発表会観覧者85名(事業提案時目標:参加者30名、発表会観覧者100名) </td></tr> </table>				イベント名	歌のすきな子あつまれ～♪浜松キッズコーラス講座	実施時期	令和6年7月14日(日)～令和6年9月7日(土)	実施場所	クリエート浜松、音楽工房ホール	内容	・中央区を中心に市内の小中学生を募集し、全5回(うち1回発表会)のキッズコーラス講座を開催 ・5回の講座を通して、静岡県や浜松市にまつわるふるさとの歌を交え、10曲の合唱曲に挑戦した。 ・異なる学年、学校の児童生徒同士の交流が深まり、回を重ねるごとに友達の輪が広がった。 ・団体スタッフ3名、参加者35名、発表会観覧者85名(事業提案時目標:参加者30名、発表会観覧者100名)
イベント名	歌のすきな子あつまれ～♪浜松キッズコーラス講座											
実施時期	令和6年7月14日(日)～令和6年9月7日(土)											
実施場所	クリエート浜松、音楽工房ホール											
内容	・中央区を中心に市内の小中学生を募集し、全5回(うち1回発表会)のキッズコーラス講座を開催 ・5回の講座を通して、静岡県や浜松市にまつわるふるさとの歌を交え、10曲の合唱曲に挑戦した。 ・異なる学年、学校の児童生徒同士の交流が深まり、回を重ねるごとに友達の輪が広がった。 ・団体スタッフ3名、参加者35名、発表会観覧者85名(事業提案時目標:参加者30名、発表会観覧者100名)											
(6)総事業費	274,727円	(7)補助金額	106,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
(9)意見など	5 費用対効果	高い	普通	低い								
	1 事業目的の達成度 ・目標を超えた参加者数となり、子供たちが学校や学年の枠を超えて交流することにつながった。 2 地域資源の活用度 ・主に中央区の人材(講師やスタッフ)を活用し、会場として音楽工房ホールも使用した。地域資源を活用しながら、市が目指す"音楽の都"に向けた音楽文化の振興に繋がる活動をした。 3 地域への貢献度 ・合唱に関する部活動や課外活動が廃止・縮小している中で、子供たちが気軽に音楽に触れ、親しみ、楽しむ時間や子供たち同士による交流の場を創出することができた。 4 財政支援の妥当性 ・市の音楽文化の醸成に寄与する取組みである。また、講座終了後には、浜松市・札幌市音楽文化都市交流事業として子供たちが都市を越えた交流コンサートに参加することにもつながった。 5 費用対効果 ・保護者アンケートから、親子ともに非常に満足度の高く、質の高い講座であると認められる。											

事業実績書

事業名	歌の好きな子あつまれ～♪浜松キッズコーラス講座
事業主体名 (共催、後援、協力等)	浜松キッズコーラス実行委員会 (浜松市、浜松市教育委員会、浜松市文化振興財団、NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会)
実施時期	2024 年 7 月 14 日 (日) ～ 2024 年 9 月 7 日 (土)
実施場所	クリエート浜松、研修交流センター音楽工房ホール
参加人数	団体スタッフ 3 名、参加者 35 名、聴講 85 名
事業の内容	・小中学生を対象に、土・日曜の2～3時間程度、4回の講座と発表会を開催する。小中学生に分かりやすく楽しく上達する内容で取り組む。 ・異学年、他校の参加者との交流を深め、人と人との触れ合う体験の機会を設ける。 ・音響の良い市の施設を会場として、参加者(歌い手・聴き手)にとって響きを味わう感動体験を生み出す。 第1回 7月14日(日) 13:30～15:30 クリエート浜松 「きれいな声って、どうやって出すの？」 第2回 7月28日(日) 13:30～15:30 クリエート浜松 「正しい姿勢と息の出し方で歌うま！」 第3回 8月11日(日) 13:30～15:30 クリエート浜松 「みんなで声を合わせて歌おう！」 第4回 8月25日(日) 13:30～15:30 クリエート浜松 「声をひびかせて、気持ちを合わせて歌おう！」 第5回 9月 7日(土) 9:30～12:00 音楽工房ホール 「みんなで楽しく合唱しよう♪」
事業目的の達成度	募集人数を上回る応募があり、小2から中学生まで35名の参加を受け入れた。目的とした、合唱の機会が無かった音楽が大好き、歌が大好きな子供たちが、一人ひとりの音楽力を高めるとともに、心穏やかにそして楽しく、身体全体で思いっきり歌(合唱)と触れ合う場となった。 異学年、他校の児童との交流が生まれ、回を追うごとに合唱を通して深まった。そして、最終回は子供たちの明るい歌声によって、保護者を含めた多くの市民との年代を超えた音楽交流、次世代への橋渡しとなり、音楽文化のつながりに発展した。 講座後には、終了した講座生が浜松市と札幌市との都市交流のフェスティバルに参加することが出来、更に多くの200人への動員に広がり音楽交流へ繋がった。
地域資源の活用度	音楽活動、音楽の教員現場の一線で培った能力をもった方々、今後地元で活躍される講師を活用。 区内学校現場にて副教材として扱う楽譜の使用及び浜松市ゆかりの曲の伝承。 子供たち、一般市民がほとんど使用したことのない、中央区にある音楽に適した施設の活用。

地域への 貢献度	部活動や課外活動が廃止、減少のなか、子供たちが音楽に触れ、親しみ、楽しむ時間を子供たちに提供できた。長い夏休みの他校居場所づくりの一つとなったうえ、児童生徒が互いに交流する場にもなった。 初めて合唱をする機会となった児童が大半で、この体験が、次世代へ繋がっていくことであろう。 聴講を通して、一般市民へ合唱を伝え、楽しむ機会となり、音楽文化への興味を与えることが出来た。
財政支援の 妥当性	オーディションがあったり、多額の経費負担となったりするハードルを無くして、やりたいと思う気持ちを大切に、気軽に取り組めるようにした。 補助金により、高い能力を持つ指導者にお越し、さまざまな面からみても充実した内容の講座をすることが出来た。
費用対効果	素晴らしい講師陣、中央区内の会場ともに良い環境での講座となったことは、講座をやっただけに終わらず、講座生の周囲に、また次世代へ繋がる良い影響を与えることが出来た。 自己負担分の削減が課題。
今後の方向性	この流れを基本に来年度も継続を考えている。寄せられている区民の希望に沿って、各回の聴講の受け入れ、参加者の増加も検討していきたい。
備 考	アンケートより ・短期間に集中して素敵な曲を披露してくださり、親も子も感無量です。ただ、残念なのは仲良くなったお子さん達とこれでお別れという事です。これを機に月に1回でも練習があったら嬉しいねと他のお母様方と話しておりました。 ・今のご時世、色々な習い事をされているお子さんが多いですが、コーラスも好き！！…だけど、合唱団に入る程は通えないというお子さんも多くいらっしゃる中で、今回の講座は合唱の楽しみを知るいい機会になりました。 ・季節毎の開催等、何かしらの方法でキッズコーラスの機会が増えて下さったら嬉しいです！！ ・夏休み中に1週間短期集中や毎週など、回数を増やしてやってほしいです。 ・隔週の日曜日で通いやすかったです。期間は娘がまたやりたい気持ちになったようなので、もう少し長めでもいいかなとも思いました。ただ、初めてやるにはこれぐらいがいいのかなとも思います。 ・音楽の講座等、音楽系では色々体験させていますが、このキッズコーラスは本当に楽しいと毎回ウキウキで参加させて頂きました。先生方のお人柄や音楽を楽しくされているお姿がとても心地よいようでした。とても素敵な場なので、今後も続けて頂きたいです。 ・講座をお休みした時も丁寧に対応して下さい本当に有り難かったです。保護者の見学が自由だとうれしかったです。理由があつてのことだとは思いますが、練習を少し見てみたかったです。先生方のご指導のおかげで歌うことがさらに大好きになったと思います。ありがとうございました。 ・フェスティバルにでられて良かったです。キッズコーラスとして、また出たいです。 ・歌だけではなく、手話もやったり、異なる学校の友達や異学年の子達と一緒に活動

することも楽しかったようで、終わってしまうのが悲しいと娘が言っていました。また次回も参加したいと思います。

・化粧室に行く際等、常に先生が付き添って下さったため、安心して預けることができました。講座の最後に発表会があるのも、やる気につながって良かったです。丁寧な対応ありがとうございました。

・娘はとても楽しかったようで、次回も参加したいと言っています。貴重な体験ができたと思います。ありがとうございました。

・他校のお友達ができたり、親と長時間離れて行動するなどいい経験になったようです。ありがとうございました。

・貴重な機会に感謝しております。子供より、他の団体の歌声を聞いてもっと上手になりたい、もっと講座に参加して練習したいと思いました。

・すごく良かった 刺激を受けました とても楽しかったみたいです

・子供は充実したようで、一晩経っても興奮冷めやらぬ…でした。その分先生方の大変さは相当だったと思います。本当にありがとうございました。大きなホールで、知らない子達と心を一つにして歌い上げたり、キッズコーラスのメンバーで歌った記憶はなかなか得られない素晴らしいものだったと思います。

・お友達になった子から聞いた話を一生懸命話してくれたり、フルートの先生のお話ししてくれたり…話が思い出の宝箱からいっぱい溢れ出てきます。これも先生方のサポートがあったからこそできた経験です。本当にありがとうございました。まだ暑い日も続きますが、お疲れの体をしっかり休めて、また素敵な音楽を奏でて下さい。本当にありがとうございました。

・みんなと心を一つにして歌声を届けられたことが心に残り、お姉さんたちがとても優しくしたことや初めて会う人たちとお話できたことがうれしかったようです。多くの人の前で堂々と楽しそうに歌う姿に感動しました。大きな舞台で歌うことや初めて出会う人たちとの交流会は、本当に貴重な経験になったと思います。ありがとうございました。

・たった5回の練習あんなに歌えるとは思いませんでした。前日からソクソクしていて、当日もとても楽しかったようです。練習時間は短いものの、よくがんばったなと思います。色々ご指導いただきありがとうございました。

・なかなかない貴重な経験をさせていただき、また長時間傾けていただき感謝しかありません。私自身もコーラスを聞き、コーラスってこんなに感動するものなのかといい時間を過ごさせていただきました。貴重な機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

・大きなステージに立つという貴重な機会を頂き、大変嬉しかったです。目をキラキラと輝かせて楽しそうに歌うみんなの姿が見られて、参加できて本当に良かったなあと思いました。本人もとても楽しかったようで、来年もまた参加したいと話しています。

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区 分	決算額	予算額	比 較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	106,000	106,000			地域力向上事業(市民提案による 住みよい地域づくり事業費補助 金)
計	274,727	265,264	17,500	8,037	

2 支出の部

単位：円

区 分	決算額	予算額	比 較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	112,000	105,000	7,000		講師演奏・指導料 7,000 円×3 名×5 日 7,000 円×1 名×1 日
賃 金	50,184	50,184			スタッフ 984 円×3 時間×3 名×5 日 アルバイト 984 円×3 時間×2 名×1 日
旅 費	26,400	13,600	12,800		講師 800 円×3 名×5 日 スタッフ 800 円×3 名×5 日 講師・アルバイト 800 円×3 名
印刷製本費	20,945	22,860		1,915	チラシ印刷 9,530 円 デザイン 10,000 円 コピー代 1,415 円
消耗品	4,268	7,070		2,802	クリアホルダー、クリアファイ ル、シール、コピー用紙、のり、 画用紙、封筒
保険料	4,920	4,500	420		イベント保険料 30 円×30 名×5 日 追加分：420 円

使用料及 び賃貸料	56,010	62,050		6,040	南部協働センター 480 円×2 回 クリエート(スタジオ) 3,750 円×3 回 クリエート(創造) 2,490 円×2 回 クリエート(アトリエ) 1,220 円 音楽工房ホール 20,270 円 音楽工房控室 940 円 ピアノ(スタジオ) 1,780 円×3 回 ピアノ(創造) 1,230 円×2 回 ピアノ(音楽工房) 8,470 円 机 20 円×6
計	274,727	265,264	20,220	10,757	

助成事業 No. 2

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	第12回ハイスchoolジオラマグランプリ	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	特定非営利活動法人 はままつ未来会議											
(4)事業の目的	・若者のものづくりを支援し、「ジオラマの聖地・浜松」として情報発信すると同時に、「ものづくりのまち浜松」のイメージ及びステータス向上に繋げる。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>第12回ハイスchoolジオラマグランプリ</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和7年3月27日(木)～令和7年3月30日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>ザザシティ浜松</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・全国の高校生チームを対象としたジオラマグランプリの開催 ・一次審査通過作品の一般公開、一般来場者による人気投票、参加チームによる交流、模型教室の開催 ・一次審査通過チームによるプレゼンテーション大会、作家や浜松市美術館長による審査を実施 ・団体スタッフ36名、ボランティア15名、出展者約220名、来場者約600名(事業提案時目標:来場者500名) </td></tr> </table>				イベント名	第12回ハイスchoolジオラマグランプリ	実施時期	令和7年3月27日(木)～令和7年3月30日(日)	実施場所	ザザシティ浜松	内容	・全国の高校生チームを対象としたジオラマグランプリの開催 ・一次審査通過作品の一般公開、一般来場者による人気投票、参加チームによる交流、模型教室の開催 ・一次審査通過チームによるプレゼンテーション大会、作家や浜松市美術館長による審査を実施 ・団体スタッフ36名、ボランティア15名、出展者約220名、来場者約600名(事業提案時目標:来場者500名)
イベント名	第12回ハイスchoolジオラマグランプリ											
実施時期	令和7年3月27日(木)～令和7年3月30日(日)											
実施場所	ザザシティ浜松											
内容	・全国の高校生チームを対象としたジオラマグランプリの開催 ・一次審査通過作品の一般公開、一般来場者による人気投票、参加チームによる交流、模型教室の開催 ・一次審査通過チームによるプレゼンテーション大会、作家や浜松市美術館長による審査を実施 ・団体スタッフ36名、ボランティア15名、出展者約220名、来場者約600名(事業提案時目標:来場者500名)											
(6)総事業費	359,790円	(7)補助金額	126,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
	5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた来場者目標500名に対し、約600名の来場者があり、参加チームも全国から過去最多となる22校33チームが出場し、大いに盛り上がる大会となった。 2 地域資源の活用度 ・浜松市出身の情景作家や木工作家を活用し、個性的な「ものづくりのまち 浜松」を体現することにつながった。 3 地域への貢献度 ・浜松ジオラマファクトリーのあるザザシティ浜松を会場とし、秀逸で見応えのある作品を多く展示・公開することで、「ものづくりのまち 浜松」をアピールする場となった。 4 財政支援の妥当性 ・ジオラマという特色ある事業であり、優れた作品を鑑賞できる環境の提供と全国から集まった出場チームによるプレゼンテーション大会の実施により、本市の関係人口を創出し、文化振興と活気あるまちづくりに大きく寄与している。 5 費用対効果 ・会場へ来られない方のために、SNSによる動画・画像配信や表彰式の動画配信の実施やリモートでプレゼンテーション大会を実施するなど、事業を広く周知し多くの方に楽しんでもらえるような工夫が見られた。												

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	第12回ハイスクールジオラマグランプリ
事業主体名 (共催、後援、協力等)	特定非営利活動法人はままつ未来会議（浜松ジオラマファクトリー） 後援：浜松市、浜松市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社
実施時期	令和7年3月27日（木） ～ 令和7年3月29日（日）
実施場所	ザザシティ浜松 西館1階特設会場
参加人数	団体スタッフ 36名、ボランティア 15名 出展者 約220名（顧問含む）、一般来場者 約600名
事業の内容	※実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 模型や身近な材料を使って「情景」を表現するジオラマの高校生全国大会。ジオラマに熱中する高校生が「ものづくりの街・浜松」に集結し、作品展示とプレゼンテーションでその腕前と熱意を競った。 事業スケジュールは以下の通り - 令和6年10月 公式HP、SNS等で開催要項発表 全国の高校模型部、美術部等（約150校）に開催要項とポスターを郵送 - 令和6年11月20日～令和7年1月31日 エントリー受付。学校授業、部活動等の2～6人のチームの作品を募集 - 令和7年1月 会場をクリエート浜松からザザシティ浜松に変更 - 令和7年2月9日 一次審査（審査通過作品はコンクール会場で作品を展示公開し、プレゼンテーション大会に参加できる）、出展校発表 - 令和7年3月27日（木）～29日（日） ・作品展示公開 ・一般来場者（入場無料）による人気投票 ・参加チーム間、審査員と学生、学生と来場者による交流 - 令和7年3月29日（日）チームのプレゼンテーション大会 審査員 ・情景作家 山田卓司氏（浜松市） ・第7回浜松ジオラマグランプリ受賞ジオラマ作家 足立大樹氏（京都市） （予定の木村氏が病欠のため、急遽変更） ・浜松市美術館館長 飯室仁志氏 - 令和7年3月29日（日） 審査、講評、表彰式 専門家の審査と一般投票との総合評価でグランプリと各賞を選定、表彰。 - 令和7年3月29日～

	優秀作品を浜松ジオラマファクトリーで約1年間展示 全作品画像、公式リザルト、大会の様子は Instagram、X、Facebook、HP 等に UP し、プレゼンテーションと表彰式の様子は、後日、YouTube にて配信予定
事業目的の達成度	*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 ・出展校が過去最高の 22 校 33 チームとなり、5 校を除く 17 校が来場しました。 ・生徒、顧問、審査員間の交流が盛んに行われ、出展者アンケートでは、プロの審査員との交流により、他の大会に比べて技術の習得や制作意欲の向上に非常に役立ってうれしいとの意見が多くみられました。 ・SNS の反響から、浜松市民へ徐々にイベントが浸透してきた印象があり、音楽以外での文化振興に役立っていると感じます。
地域資源の活用度	*区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。 ・浜松市出身の情景作家、山田卓司氏を実行委員長に起用しました。 ・浜松市在住でスタッフでもある木工作家の澤井隆治氏にオリジナルワゴン 4 本を制作していただきました。 ・「ものづくりの街・浜松」という伝統を掲げて、若者の「ものづくり」を応援できました。
地域への貢献度	*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 ・ザザシティ浜松を会場にすることにより、まちなかに賑わいをもたらすことができました。 ・春休みということで子連れの来場者も多かったです。 ・ジオラマという個性的なイベントで、浜松の文化的なまちづくりに貢献できたと思います。 ・県外からの来訪者（約 200 名）により、宿泊施設・飲食業界へ貢献ができました。
財政支援の妥当性	*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 ・主催者独自の特色ある事業だと自負しています。 ・経費削減に努めて 12 年間にわたり事業を継続してきましたが、備品の老朽化や通信費・運送費の高騰で費用の増大が否めない中、補助金は非常にありがたいと思っています。 また、昨年 12 月に静岡市主催で始まった高校生を対象とした同様のイベントでは、潤沢な予算で運営が行われているため（例：審査謝礼 87 万円）、私たちとしても企業の協賛金獲得等に努力する一方で、浜松市には引き続きご支援をお願いいたします。

費用対効果	＊事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 この規模の事業としては、非常に少ない費用で開催できていると思っています。景品を豪華にできない分は、学生と審査員との距離を縮め、作品講評を充実させるなど、出展者の満足度を上げる工夫をしました。
今後の方向性	＊来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 同種同様の事業が各地で始まったため、参加校の分散が懸念材料ですが、12回という歴史を活かし、低予算でも出展者の満足度を上げる工夫を考えて開催を継続していきたいと思っています。 今回、出展校向けアンケートを実施したので、学生や顧問の先生の要望や運営の改善点などを検討し、浜松ジオラマファクトリーや一般対象のコンクール「浜松ジオラマグランプリ」との連携も考えながら、事業継続に努めていきます。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	126,000	126,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	359,790	317,000	42,790		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	62,000	62,000			審査謝礼2日間 @31,000×2 美術館館長無し
旅費	25,592	20,000	5,592		作品誤配1,560 足立氏交通費 15,820 宿泊費6,700 館長駐車料1,512
印刷・製本費	24,100	24,000	100		ポスター印刷14,130 チラシ印刷4,470 デザイン料5,500
消耗品費	46,122	19,400	26,722		トロフィー4本12,000 賞状用紙3,526 副賞ゾウマ用品 15,000 他事務用品15,596

通信運搬費	46,670	30,000	16,670		募集要項・ポスター・チラシ送付 45,140 協賛品着払い 1,530
保険・手数料	2,246	0	2,246		ボランティア行事保険 1,036 送金手数料 1,210
委託料	80,000	80,000			事務局業務の一部、会場管理
使用料・賃借料	73,060	81,600		8,540	WiFiルーター3,060 ササシイ会場使用 70,000
計	359,790		51,330	8,540	

助成事業 No. 3

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	インド浜松フェスティバル	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)									
(3)実施団体名	インドはままつ国際交流委員会											
(4)事業の目的	・インド、日本それぞれの文化に触れることで多様な価値観と出会い、多文化共生とインクルーシブな社会をつくり、浜松の中心街で人々の交流を生み出す。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>インド浜松フェスティバル</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年9月14日(土)～令和6年9月15日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>新川モール</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・インドと日本の文化(食・ファッション・舞踊・音楽)を体験しながら楽しみ、交流が生まれる演出や催しを実施 ・国際交流の場として開催し、日本人、インド人ともに多くの来場者が集まり、それぞれの文化を楽しむ場を提供することで街中ににぎわいを創出した。 ・団体スタッフ9名、来場者2,600名(事業提案時目標:来場者3,000名) </td></tr> </table>				イベント名	インド浜松フェスティバル	実施時期	令和6年9月14日(土)～令和6年9月15日(日)	実施場所	新川モール	内容	・インドと日本の文化(食・ファッション・舞踊・音楽)を体験しながら楽しみ、交流が生まれる演出や催しを実施 ・国際交流の場として開催し、日本人、インド人ともに多くの来場者が集まり、それぞれの文化を楽しむ場を提供することで街中ににぎわいを創出した。 ・団体スタッフ9名、来場者2,600名(事業提案時目標:来場者3,000名)
イベント名	インド浜松フェスティバル											
実施時期	令和6年9月14日(土)～令和6年9月15日(日)											
実施場所	新川モール											
内容	・インドと日本の文化(食・ファッション・舞踊・音楽)を体験しながら楽しみ、交流が生まれる演出や催しを実施 ・国際交流の場として開催し、日本人、インド人ともに多くの来場者が集まり、それぞれの文化を楽しむ場を提供することで街中ににぎわいを創出した。 ・団体スタッフ9名、来場者2,600名(事業提案時目標:来場者3,000名)											
(6)総事業費	3,136,200円	(7)補助金額	1,575,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
5 費用対効果	高い	普通	低い									
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた来場者数には届かなかったものの、日本とインド両国の文化を多くの人に知ってもらう機会となり、誰もが楽しめるイベントとなった。 2 地域資源の活用度 ・新川モールを活用した事業であり、来場者のまちなかへの回遊性向上に寄与した。 3 地域への貢献度 ・地域住民のインドへの理解促進につながる事業であり、産業、文化振興両面で大きな効果が期待できるイベントである。 4 財政支援の妥当性 ・インドと浜松との交流と相互理解を深めることができる事業である。事業経費が高額となっているため、事業を継続していくために更なる資金確保に努めていただきたい。 5 費用対効果 ・第1回目の開催ということで、次回以降、多くの来場者が訪れるよう効果的な周知を期待する。												

第 1 1 号様式（第 1 0 条関係）

事業実績書

事業名	インド浜松フェスティバル
事業主体名 (共催、後援、協力等)	インド浜松国際交流委員会 後援：浜松市、インド大使館
実施時期	2024 年 9 月 14 日（土） ～ 2024 年 9 月 15 日（日）
実施場所	新川モール
参加人数	団体スタッフ 9 名 、参加者 2,600 名
事業の内容	インドと日本の文化（食・ファッション・舞踊・音楽）を体験しながら楽しみ、交流が自然と生まれる演出や催しを実施することで国際交流の場として開催しました。街中ににぎわいを創出し、郊外の製造業の方々を浜松中心街に引き込むことを狙いとして実施。実際に日本人・インド人ともに多くの方々にご来場いただき、皆さんが美味しいインド料理を食べて、インド・日本の文化を楽しみ、一緒に踊りながら交流が生まれる空間を創出することができました。
事業目的の 達成度	当初の「インドの方には浜松に居場所をつくる」「浜松の方々にはインドの人と文化を知ってもらおう」という目的は達成できたと感じています。ステージでの出演者・飲食での出店者にインド人・日本人を起用し、どちらかの色が濃くなりすぎないように気をつけイベント全体を企画しました。その甲斐もあって自然と両国の人々が緩やかに交流し相互理解が生まれる演出ができました。また、イベントのフィナーレで準備したポリウッドダンスの盆踊りが企画側からも想像していなかったような反応があり、インド人・日本人が笑顔で一緒に踊る景色を作り出せたのは主催としても嬉しい誤算でした。本当に盛り上がっていました。
地域資源の 活用度	今回の参加していただいた協賛企業様は、インドに進出しているもしくは検討している企業様ばかりでした。特に春華堂様・エムスクエアラボ様はインドコラボレーションの新商品を開発しており、その商品を販売するために出店していただきました。イベント後「自社商品のマーケティングの場として最適でした」というご意見もいただき、地域の資源を海外に販売していくのを後押しする役割もこのイベントが果たせたのだと実感しました。 また、地域で小規模ではありますが事業を営む出店者も多く、インド文化を発信している方、インドの方にも日本の商品を知ってほしいという方にも多数参加いただきました。
地域への 貢献度	今回のメインスポンサーであるスズキ(株)にもインドの社員は数百名いらっしゃいます。その社員だけでなく家族の方にも多数来場いただき、スポンサーの枠でステージも出演いただきました。異国の地で働く人たちに楽しんでもいただく場を提供できたことは、今後、高度人材の受け入れのモデルケースになりますし、企業活動の支援にも繋がると感じました。 また、多文化と触れる機会を創出することで、浜松の伝統文化や社会活動を再度見直す機会にもなり、より一層浜松の人たちが地域を愛することができるきっかけにもなると思います。

財政支援の 妥当性	今回のインドとの取り組みは、浜松市だけでなく全国そして全世界に広がる取り組みでした。浜松市だけでなく、それらを巻き込んで地域を盛り上げていくイベントとして一定の評価をいただくことができました。そのためには魅力的なインド文化を発信できる方々を県外・国外から招聘する必要があり、今回の補助金はその方々に参加していただく費用にもあてさせていただきました。そして、異文化の世界観を浜松の地で演出する必要もあり会場装飾なども予算を割いておりました。おかげさまで県外からも多くのお客様に会場へ来ていただき「全国でもっと大きいイベントに参加してきたけど、浜松の盛り上がりが今までで一番だった」というお言葉も多数いただきました。
費用対効果	前述のとおり県外からのお客様も多かったことは浜松の活性化にとって大きな効果だったと感じております。インドはままつフェスティバルをきっかけに浜松の文化や風土・人に触れていただくことも、このイベントを開催する意義であると考えております。 今回、第一回目ということもあり、関係各所との調整が難航し、出演者・出店者の手配に手間取り告知が遅れたことが反省点としてあります。それによって来場者が想定していた 3,000 名以上に届かなかったことで売上として少なかったと感じています。
今後の方向性	お客様・出演者・出店者・ご協賛企業様すべての方々に次回開催の要望をイベント当日にいただいております。また、今回はイベントに来場するだけだった、ご協賛企業様の関連団体様からも次回はご協賛いただけるという声もイベント当日にいただきました。これから、一年に一回のペースで、さらに浜松の活性化と多文化共生を実現できるように開催していきたいと考えております。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	1,575,000 円	1,575,000 円			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	3,136,200 円	3,150,040 円		13,840 円	

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	450,000 円	440,000 円	10,000 円		ダンス・演奏者出演費 9 団体×50,000 円
報償費	60,000 円	60,000 円			トークライブゲスト (Mayo インディンフルエンサー)
賃金	196,800 円	196,800 円			運営スタッフ費用 984 円×10 名×10 時間×2 日
消耗品費	380,000 円	380,000 円			飲食用資材費 (皿・コップ・ゴミ袋など)
印刷費	255,000 円	255,000 円			当日配布パンフレット 制作費 (A3、10,000 部) 店舗・企業配布

保険料	0 円	18,240 円		18,240 円	保険料
委託料	180,000 円	180,000 円			清掃事業者ゴミ回収
委託料	840,000 円	840,000 円			イベント設営費
委託料	280,000 円	280,000 円			スピーカー・マイク等音響設備
委託料	380,000 円	380,000 円			衣装レンタル費用
使用料及び賃借料	114,400 円	120,000 円		5600 円	イベント会場費
計	3,136,200 円	3,150,040 円		13,840 円	

助成事業 No. 4

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	浜松ブルースフェスティバル2024	(2)採択回数	3回目 (補助率25%以内)								
(3)実施団体名	浜松ブルース振興会										
(4)事業の目的	・ブルース音楽のイベント活動を通して、市街地活性化と賑わいづくりに寄与する。 ・自由に参加できるブルースフェスティバルを開催することで、音楽の振興と街中が融合するクリエイティブシティとしての浜松市の魅力を世界に発信する。 ・飲食、古本、木工製品、雑貨アクセサリなどのショップを出店することで、街中活性化の一助とする。										
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>浜松ブルースフェスティバル2024</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年10月6日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>浜松ギャラリーモールソラモ</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・ゲスト、アマチュア5組の演奏(アマチュアは中央区のバンドを中心)、中央区の飲食、古本、木工製品、雑貨アクセサリなどのショップが出店する総合イベントを実施 ・ソラモでの演奏に加えyoutubeのライブ配信によるハイブリット開催 ・ブルース音楽のイベント活動を通じて、中心市街地の活性化と賑わいづくりに寄与した。 ・団体スタッフ10名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者1,000名) </td></tr> </table>			イベント名	浜松ブルースフェスティバル2024	実施時期	令和6年10月6日(日)	実施場所	浜松ギャラリーモールソラモ	内容	・ゲスト、アマチュア5組の演奏(アマチュアは中央区のバンドを中心)、中央区の飲食、古本、木工製品、雑貨アクセサリなどのショップが出店する総合イベントを実施 ・ソラモでの演奏に加えyoutubeのライブ配信によるハイブリット開催 ・ブルース音楽のイベント活動を通じて、中心市街地の活性化と賑わいづくりに寄与した。 ・団体スタッフ10名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者1,000名)
イベント名	浜松ブルースフェスティバル2024										
実施時期	令和6年10月6日(日)										
実施場所	浜松ギャラリーモールソラモ										
内容	・ゲスト、アマチュア5組の演奏(アマチュアは中央区のバンドを中心)、中央区の飲食、古本、木工製品、雑貨アクセサリなどのショップが出店する総合イベントを実施 ・ソラモでの演奏に加えyoutubeのライブ配信によるハイブリット開催 ・ブルース音楽のイベント活動を通じて、中心市街地の活性化と賑わいづくりに寄与した。 ・団体スタッフ10名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者1,000名)										
(6)総事業費	1,458,453円	(7)補助金額	348,000円								
(8)評 価	項 目	ランク									
		A	B	C							
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い							
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い							
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い							
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い							
	5 費用対効果	高い	普通	低い							
(9)意見など											
1 事業目的の達成度 ・ソラモという市の玄関口で開催することで多くの観覧者を集め、事業提案時に掲げた目標どおり幅広い人にブルース音楽の魅力を届けることができた。 2 地域資源の活用度 ・楽器産業関係企業が多く存在するという市の特徴をいかし、それらに勤務する音楽に造詣の深い中央区在住のバンドメンバーが多く出演しており、地域資源の活用度は高い。 3 地域への貢献度 ・対象者を限定せず、ブルース音楽を無料で観覧できる機会を創出することにより、音楽文化の多様性を豊かにするきっかけ作りにつながった。 4 財政支援の妥当性 ・「音楽の都」を目指す本市において、音楽文化の振興につながる活動を担っており、団体として財源確保の工夫も見られる。 5 費用対効果 ・コロナ禍で開始したYoutube配信を引き続き実施することにより、「音楽の都」を目指す浜松の魅力を幅広く発信する音楽イベントとなった。											

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	浜松ブルースフェスティバル 2024
事業主体名 （共催、後援、協力等）	事業主体：浜松ブルース振興会 令和6年度中央区地域力向上事業、公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金助成事業、公益財団法人静岡県西部しんさん地域振興財団助成事業 協賛：株式会社鈴木楽器製作所、株式会社ヤクロー、株式会社ブティックビギ FM Haro!、うなぎの又一、BLUES & SOUL records、Bar Triangle、Blues & Soul BOB、Live & Disco MARGARITA、お好み焼きカモノハシ、オーガニックたま屋 後援：浜松市、浜松商工会議所、浜松市文化振興財団、静岡県文化財団、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、K-MIX、クエストミュージックワークス株式会社、ソニックシステム株式会社、シネマイーラ。カツヤマファインテック株式会社
実施時期	令和6年10月6日（日）
実施場所	浜松ギャラリーモールソラモ
参加人数	団体スタッフ10名、参加者1,000名
事業の内容	①令和6年10月6日（日）浜松ギャラリーモールソラモで実施した。プロゲスト、アマチュア5組+1名が演奏した。アマチュアは中央区のバンドを中心として、岐阜、彦根、大阪、堺、神戸から招聘した。 ②中央区の飲食、雑貨アクセサリ、生活用品などのショップが出店する総合イベントを来場者と創造した。この部門はブティックビギ石井会長を顧問とした。なお、これは場の提供とコラボを目的とするため出店費用は無料とした。 ③国内外への情報発信 区民への情報発信は、中央区内の協働センターにおけるポスター掲示・チラシの配架、ブログ、SNS、ポスター・チラシ、FM ラジオのスポット広告、番組出演、新聞、全国音楽誌への掲載などを実施した。 ソラモでの演奏に加えて youtube のライブ配信によるハイブリット開催を実施した。
事業目的の達成度	基本的な目的 ①クリエイティブ・エリアの形成：芸術・文化・経済の各分野におけるクリエイティビティを区民の自発的活動をとおして創造した。 ②地域の文化振興：文化の重要な要素である音楽を区民の身近な存在にすることにより、楽器産業の集積地である浜松から音楽を発信した。 ③文化の多様性の促進：全国においても数少ないブルース音楽を中心とするイ

	ベントを開催することにより、地域における文化の多様性を促進した。 具体的な目的 ①ブルース音楽のイベント活動をとおして、中央区市街地の活性化と賑わいづくりに寄与した。 ②多くの区民が自由に参加するブルースフェスティバルをソラモで開催することにより、音楽の振興と街中が融合するクリエイティブ・シティとしての浜松市の魅力を世界に発信した。その方法は、ブログ、SNS、ポスター・チラシ、FM ラジオ、新聞、タウン誌、全国音楽誌への掲載であった。 ③中央区の飲食、雑貨アクセサリ、生活用品などのショップが出店する総合イベントを来場者と創造した。これを街中活性化の一助とした。
地域資源の活用度	浜松地域は、楽器産業の集積地および音楽の街として世界的に著名である。しかし、その音楽性は一定の音楽ジャンルに偏重する傾向がみられる。 本事業は、ブルースを含む多様な音楽性を内包する浜松市の魅力を世界に発信、中央区の活性化のために次の二つの資源を活用した。第一に、楽器産業の集積地としての歴史と企業は全国的のみならず、世界から注目を集める有効な資源である。また、著名な大手企業のみならず、優れた中堅企業（鈴木楽器、東海楽器等）の存在も有効な広報手段として活用した。 第二は、それらの企業に勤務および関連する高い演奏能力を持つアマチュアミュージシャン達である。これらの企業の社員は音楽への造詣が深く、また、楽器演奏技術も優れている。彼らの存在を、音楽の多様性と層の厚さとして活用した。
地域への貢献度	本事業は次の二つの項目において、地域に貢献したと考える。 ① 浜松市の魅力の発信 当日の同時配信後もアップしてある youtube チャンネルの視聴回数は 2,300 回に達している。将来は、例年どおり 7,000 回に達すると予想する。海外の視聴者も多く新在する。また、FM Haro! において 9 月 27 日に放送した特集番組（ロケットショー）はサイマルチャンネルにより、全国で多くの人が視聴した。このように、ブルース音楽などの多様な音楽性を内包する浜松地域の魅力を世界に発信することにより、地域に貢献した。 ② 中心市街地の活性化 ソラモで開催することにより、多くの観客を浜松の中心市街地に呼び込んだ。また、足を止めて鑑賞する通行人も多く観られた。特に、今回は関東や関西などの他県からの来場者が目立った。彼らから、フェスへの来場のみならず、鰻や餃子を堪能することが楽しんだ、との声が聞かれた。また、積極的に楽器博物館を紹介して来場者を誘導した。 本事業以降も、やらまいかミュージックフェスティバル、ジャズフェスティバルなどへの流れを構築することにより、さらに地域へ貢献した。
財政支援の妥当性	本事業は、上記の各項目を実施することにより、特色のある事業とした。 ①観客の入場料、出演者の参加費、ショップの出店料は徴収しないことにより、市民が参加しやすい開かれたイベントとした。 ②アマチュアミュージシャンへも出演料を支払うことにより、充実した責任の

	ある演奏を促した。 ③ポスター、チラシのみならず、FM局・番組の活用、全国誌への掲載などの幅広い広報は、財政支援により可能となっている。 ④相応の会員御拠出は実施しているが、これのみでは事業の実施は難しい。これに、財政支援が付加されることにより魅力的なイベントを開催出来た。
費用対効果	本事業により得られた効果と経費とのバランスについて、上述の項目と重複するが、次のように考える。 ①浜松市の魅力の発信：多数のチャンネル、媒体により国内、海外に発信した。 ②中心市街地の活性化：ショップを含む総合的な音楽イベントとして、ソラモに多くの観客を集めた。 ③回遊および消費：市内および県内外の観客に対して楽器博物館等への回遊、および食事、買い物等への消費を促した。
今後の方向性	2011年の初開催以来、多くの困難があったが、今年で13回の開催を数えることが出来た。来場者のみならず、youtube配信の視聴者も増加して全国的な知名度も向上している。 今回は、特に大阪の堺ブルースフェスティバルとの連携が実現した。具体的には浜松のバンドの堺ブルースフェスへの出演、堺ブルースフェス実行委員会が中心となったバンドの招聘である。また、国内のみならず、台湾や韓国のブルースファンやプレーヤーとの交流も進めている。 これらの成果を将来に繋げるにより、さらに浜松の魅力発信を継続する予定である。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	348,000	348,000			地域力向上事業 (市民提案による 住みよい地域づく り事業費補助金)
計	1,458,453	1,392,900	65,553		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	507,000	475,000	32,000		プロバンド1組： 250,000円、アマチ ュアバンド：30,000 円×5組、アマチュ ア1人：30,000円、 セッション参加 者：1,000円×27人、 司会者謝礼：50,000 円1人/日
賃金	193,400	188,400	5,000		写真撮影者：30,000 円1人/日、映像撮

						影者：30,000 円 1 人 ／日、ライブ配信担 当：30,000 円 1 人／ 日、会場スタッフ・ アルバイト：1,034 円×10 時間×10 人 ／日
需用費	印刷製本 費	189,200	160,000	29,200		チラシ 7,000 枚、ポ スター 500 枚、のぼ り、その他デザイン
	消耗品費	20,663	25,000		△4,337	事務用品、記録媒 体、コピー、インク カートリッジ、その 他
役務費	会場保険 費	10,000	10,000			損害賠償保険
	ラジオス ポット	60,500	60,500			FM Haro! スポット +番組出演
	音楽雑誌 掲載費	22,000	22,000			全国誌 BLUES & SOUL Records
	通信費	15,328	20,000		△4,672	企画書、チラシ、ポ スター、資料郵送 費、宅配費
委託料		213,400	220,000		△6,600	音響機材、PA オペレ ーター含む
使用料及び賃借 料		226,962 *内補助対 象外 (10,000)	212,000	14,962		【補助対象外】ソラ モ予約料：10,000 円、ソラモ使用料： 27,490 円、テント・ スポットライト・ 机・椅子レンタル 料：68,970 円、楽器 レンタル料： 118,700 円、配信用 WIFI：1,802 円

補助対象経費	1,448,453				
補助対象外経費	10,000				
計	1,458,453	1,392,900	65,553		

助成事業 No. 5

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	環境・社会・次世代育成事業	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)									
(3)実施団体名	ALL BLUE project											
(4)事業の目的	・次世代育成に向け、体験交流を行うことで、地域活性化・交流化に繋げる。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>環境・社会・次世代育成事業</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年12月30日(月)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>サザンクロス商店街</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・サザンクロス商店街と協力し、餅つき大会やダンスショー、ビンゴ大会などの各種イベントを開催 ・イベント後会場周辺におけるクリーン活動など、SDGsに関する活動を実施 ・団体スタッフ15名、参加者180名(事業提案時目標:参加者200名) </td></tr> </table>				イベント名	環境・社会・次世代育成事業	実施時期	令和6年12月30日(月)	実施場所	サザンクロス商店街	内容	・サザンクロス商店街と協力し、餅つき大会やダンスショー、ビンゴ大会などの各種イベントを開催 ・イベント後会場周辺におけるクリーン活動など、SDGsに関する活動を実施 ・団体スタッフ15名、参加者180名(事業提案時目標:参加者200名)
イベント名	環境・社会・次世代育成事業											
実施時期	令和6年12月30日(月)											
実施場所	サザンクロス商店街											
内容	・サザンクロス商店街と協力し、餅つき大会やダンスショー、ビンゴ大会などの各種イベントを開催 ・イベント後会場周辺におけるクリーン活動など、SDGsに関する活動を実施 ・団体スタッフ15名、参加者180名(事業提案時目標:参加者200名)											
(6)総事業費	248,304円	(7)補助金額	124,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
	5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・開催日の変更などにより、事業内容の変更を余儀なくされたが、餅つき体験やダンスショーでは子供たちや保護者の多くが楽しむ様子が見られた。 2 地域資源の活用度 ・サザンクロス商店街を会場とし、地元の店舗と連携することで地域のにぎわい創出の一助となった。 3 地域への貢献度 ・普段人通りの少ない商店街に、新たに人を呼び込むなど、にぎわいの創出に貢献した。 4 財政支援の妥当性 ・駅南地区に着目したイベントであり、当該地区のにぎわいを創出する事業である。事業の周知方法をより工夫することで、広く市民を巻き込んでいくことができる事業となることを期待する。 5 費用対効果 ・にぎわいや交流を創出につながる取組となった。今後、関係各所との連携を密にすることで、より発展性のある事業となることを期待する。												

第11号様式（第10条関係事業実績書）

事業名	環境・社会・次世代育成事業
事業主体名 (共催、後援、協力等)	ALL BLUE project
実施時期	2024 年 12 月 30 日（月）
実施場所	浜松市中央区砂山町 サザンクロス商店街
参加人数	団体スタッフ 15 名 、参加者 180 名
事業の内容	＊実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 ごみ拾い、ダンス体験・交流、餅つき体験を商店街中心として行うことで普段あまり交わることない地域との交流、駅南地区への人の誘致、多文化交流できるきっかけの場所を作る。
事業目的の 達成度	＊当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 達成できました。 普段あまり交流のない地域の商店街の人たちと自分たちが活動しているメンバーや子供たちと餅つきという伝統文化とダンスという現代文化を通じて共通の達成感を味わうことができた。 商店街会長からも来年の開催も期待されている話をいただいた。
地域資源の 活用度	＊区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。 サザンクロス商店街の方の協力を得て、商店街の機材や設備をお借りし設営も共同で行なっていた。 お茶屋さんなどから飲料等のご提供もいただき餅つき大会で参加者に提供させていただいた。
地域への 貢献度	＊事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 商店街の活性化として商店街会長よりお褒めの言葉として次回開催と今回の開催で得たご縁にとでも感謝されていた。
財政支援の 妥当性	＊行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 伝統的なもちつきと現代的なダンスという普段あまり関連性のないものを同時に行うための機材や材料、必要な技術の講師料に活用できた
費用対効果	＊事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 交流のきっかけや関係性の構築の場所として利用できるという商店街のイメージを与えられた効果は大きく、費用とのバランスも適切であった。
今後の方向性	＊来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 事業継続する方向で検討していく。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	124,000	150,000		26,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	248,304	309,520	4,784	66,000	

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償金	90,000	110,000		20,000	10,000円×6名 30,000円×1名
賃金	46,530	29,520	17,010		1,034×5時間×9名
印刷製本費	2,518	10,000		7,482	チラシ200枚
消耗品・運営費	99,256	70,000	29,256		ビンゴ景品 57,515円 餅つき材料 41,741円
使用料及び賃貸料	10,000	90,000		80,000	商店街利用料 10,000円
計	248,304	309,520	46,266	107,482	

助成事業 No. 6

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	和の祭典～着物フェスティバル～inソラモ	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	和の祭典実行委員会											
(4)事業の目的	・美容師による一般モデルの着付け、ヘアメイクなど「和の装い」を多くの観客へ披露する事で、「和服文化」に触れる機会を提供し、非日常を感じていただくとともに改めて日本の伝統文化【きもの】への認識を深める。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>和の祭典～着物フェスティバル～inソラモ</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年11月17日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>浜松ギャラリーモールソラモ</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・花魁、芸者姿、舞妓、振袖、七五三のモデル大人37名、子供14名による「花魁道中」のストリートショーの開催 ・琴の演奏や司会者による着物の説明 ・事業の様子や参加したモデルを撮影しSNSなどで幅広く周知 ・後日、アマチュアカメラマンによるモデル写真展を開催 ・団体スタッフ85名、モデル参加者38名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者500名) </td></tr> </table>				イベント名	和の祭典～着物フェスティバル～inソラモ	実施時期	令和6年11月17日(日)	実施場所	浜松ギャラリーモールソラモ	内容	・花魁、芸者姿、舞妓、振袖、七五三のモデル大人37名、子供14名による「花魁道中」のストリートショーの開催 ・琴の演奏や司会者による着物の説明 ・事業の様子や参加したモデルを撮影しSNSなどで幅広く周知 ・後日、アマチュアカメラマンによるモデル写真展を開催 ・団体スタッフ85名、モデル参加者38名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者500名)
イベント名	和の祭典～着物フェスティバル～inソラモ											
実施時期	令和6年11月17日(日)											
実施場所	浜松ギャラリーモールソラモ											
内容	・花魁、芸者姿、舞妓、振袖、七五三のモデル大人37名、子供14名による「花魁道中」のストリートショーの開催 ・琴の演奏や司会者による着物の説明 ・事業の様子や参加したモデルを撮影しSNSなどで幅広く周知 ・後日、アマチュアカメラマンによるモデル写真展を開催 ・団体スタッフ85名、モデル参加者38名、来場者1,000名(事業提案時目標:来場者500名)											
(6)総事業費	3,478,161円	(7)補助金額	1,367,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
5 費用対効果	高い	普通	低い									
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた500名をはるかに上回る1,000名の来場者があり、和の文化を多くの人が親しむ場となった。後日、写真展も開催し、改めてイベントを楽しめる機会を創出した。 2 地域資源の活用度 ・前年度に実施した浜松城公園に隣接する葵広場から会場を変更し、今回は「ソラモ」や「はままちプラス」といった浜松駅周辺の複数の施設を一体的、面的に活用した。 3 地域への貢献度 ・見応えのあるモデルの和装姿や伝統音楽の生演奏により、外国人を含む多くの来場者でにぎわいを創出した。 4 財政支援の妥当性 ・若い世代を含む多くの人に着物をはじめとする和の文化を発信するとともに、美容学校の学生が手伝うなど、伝統文化の継承につながる独自性あるイベントとなった。 5 費用対効果 ・対象者を限定せず多くの人にイベントを楽しんでもらう場を提供できた。当日だけでなく、後日写真展も実施することにより幅広い方を対象に和の伝統文化の素晴らしさを広める機会となった。												

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	和の祭典～着物フェスティバル～in ソラモ
事業主 体名 (共催、 後援、協 力等)	主催：和の祭典実行委員会 後援：静岡県、浜松市、静岡県美容業生活衛生同業組合、(公財)浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー、(公財)浜松市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、FM ハロー、 ウィンディ
実施時 期	ソラモイベント：2024年11月17日（日） モデル写真展：2025年2月16日（日）
実施場 所	浜松ギャラリーモールソラモ、クリエート浜松21講座室（モデル写真展）
参加人 数	団体スタッフ 85 名 参加者 着付け体験者38名 来場者 約1,000名
事業の 内容	約1000人のお客様が観に来てくださり会場が大変盛り上がった。花魁、振袖14名、 舞妓10名、豪華装束4名、七五三10名の着付けを美容師が施術し、ソラモ会場にてお披露目し た。 また、プロの長唄の生演奏で華を添え、花魁ステージでは、普段観ることのできない花魁の踊 りなどを、女優が舞った。美容学校の生徒がお手伝いをして下さり、ベテラン美容師の着付け の現場を体感することができ、世代を超えた交流となった。キッチンカーなどの出店もあり、 ソラモがより賑わった。大変多くの方が関り、皆頑張ってそれぞれの役割をやり遂げ、結果、 大成功になった。違うジャンルのプロの集結により、とてもアーティステックで、感動したイ ベントとなった。アマチュアカメラマンも参加した。 2/16写真展開催。来場者93名 カメラマン10名が写真展に作品を出品した。
事業目 的の 達成度	大変多くの方に観ていただくことができ、達成できました。昨年に引き続き美容師によるプロ の着付けヘアメイクのクオリティの高さ、日本人として和の文化を十分にお客様に伝えること ができた。 また、プロによる生演奏と花魁の踊りは、日常ではなかなか観ることができないので、お客さ まに大変好評でした。 外国人の方もきていた。
地域資 源の 活用度	ソラモで開催したことにより、より多くの方にイベントへ来場して頂けた。
地域へ の 貢献度	街中に多くの方がいらしていただき、賑わいをもたらした。 あらためて日本文化である着物、伝統音楽の生演奏の素晴らしさを伝えることができた。

財政支 援の 妥当性	美容師の技術とプロの邦楽演奏家によるコラボイベントは本物を皆に納得させるパワーのある特別なイベントとなった。出店は和の祭典に賛同していただけた、イメージにあう出店者となった。また、美容学校の学生のお手伝いも実現でき、地域交流と世代を超えた交流の場を作ることができた。
費用対 効果	このイベント事業の実施により多くの目標を達成でき、大きな効果を得られた。かかった費用としては無駄なものはなく適切であったかと思う。
今後の 方向性	大成功で終了したので、次は新しいテーマで着物、伝統文化の継承をしていきたい。

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	1,367,000	1,371,000		4,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	3,478,161	3,428,060	300,000	249,899	

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	1,376,000	1,415,000		39,000	イベント出演料 5名分 11/17@500,000 着物施術代 11/17@22,000× 38=836,000 司会料 11/17@40,000
賃金	291,588	236,160	55,428		イベントスタッフアルバイト 11/17@1,034×6時間 (@6,204)× 47=291,588
旅費	117,987 (内補助対象 110,260)	82,400	35,587		11/11リハーサル 11/17イベント当日 浜松⇄東京新幹線代6 名分 @100,080 11/16宿泊費@17,927 (内補助対象 10,200)

消耗品	35,548	50,000		14,452	ネームカード@1,023 白手袋@550@330 事務用品@1,652@846 @379@492 プリンターインク@ 4,598@7,959@2,001 看板材料@2,044@ 2,578@448@3,828@ 1,019@796 ネームホ ルダー@5,005
チラシ・ポ スター印刷 費	22,640	40,000		17,360	チラシ7,000部 @14,020、 ポスター80部 @5,580、 ポストカード2,000部 @3,030
チラシ 郵送費	4,838	15,000		10,162	@84 @840 @2,184 @250 レターパック@1,430
イベント 保険	6,200	7,000		800	
委託料	52,250 (補助対象外)	50,000	2,250		※三者見積り無し
使用料及 び賃借料 賃借料	1,571,110	1,532,500	38,610		
補助対象 経費	3,418,184				
補助対象 外経費	59,977				
計	3,478,161	3,428,060	131,875	81,774	

助成事業 No. 7

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	浜松メディカルラリー(医療者・市民・こども)	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)								
(3)実施団体名	#こども救命士になろうプロジェクト										
(4)事業の目的	・医療従事者の知識技術向上や一般参加者の救急医療、災害理解向上を図る。										
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>浜松メディカルラリー(医療者・市民・こども)</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年7月～令和7年1月</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>早出幼稚園、浜松医科大学、うなぎパイファクトリー</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・救急医療に関わる医療従事者(医師・看護師・救急救命士)をはじめ、子供や会社員といった一般市民が、出題された症例を実技で対応するメディカルラリーを全3回実施 ・出題する医療者、課題に対応する医療者や一般市民が医療スキル、防災技術を学ぶことで、チーム医療の質、防災リテラシー向上につなげる。 ・団体スタッフ105名、参加者117名(事業提案時目標:参加者80名) </td></tr> </table>			イベント名	浜松メディカルラリー(医療者・市民・こども)	実施時期	令和6年7月～令和7年1月	実施場所	早出幼稚園、浜松医科大学、うなぎパイファクトリー	内容	・救急医療に関わる医療従事者(医師・看護師・救急救命士)をはじめ、子供や会社員といった一般市民が、出題された症例を実技で対応するメディカルラリーを全3回実施 ・出題する医療者、課題に対応する医療者や一般市民が医療スキル、防災技術を学ぶことで、チーム医療の質、防災リテラシー向上につなげる。 ・団体スタッフ105名、参加者117名(事業提案時目標:参加者80名)
イベント名	浜松メディカルラリー(医療者・市民・こども)										
実施時期	令和6年7月～令和7年1月										
実施場所	早出幼稚園、浜松医科大学、うなぎパイファクトリー										
内容	・救急医療に関わる医療従事者(医師・看護師・救急救命士)をはじめ、子供や会社員といった一般市民が、出題された症例を実技で対応するメディカルラリーを全3回実施 ・出題する医療者、課題に対応する医療者や一般市民が医療スキル、防災技術を学ぶことで、チーム医療の質、防災リテラシー向上につなげる。 ・団体スタッフ105名、参加者117名(事業提案時目標:参加者80名)										
(6)総事業費	703,094円	(7)補助金額	221,000円								
(8)評 価	項 目	ランク									
		A	B	C							
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い							
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い							
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い							
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い							
5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など											
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた80名を上回る参加者があり、幼稚園児から大人までの参加者が様々な状況における応急救護を学ぶ機会となった。 2 地域資源の活用度 ・全3回の開催を通し、地域の教育機関や企業と協力、連携を図ることができた。 3 地域への貢献度 ・参加者が、応急救護の知識を参加型形式で体験しながら学ぶことができ、常日頃から意識すべき防災リテラシー向上につながった。 4 財政支援の妥当性 ・自助、共助の推進と親和性が高く、地域の防災力向上や住民の命を守ることにつながる。 5 費用対効果 ・医療従事者と地域住民をつなぐ新しい視点の取り組みである。地域への効果的な事前周知など情報発信を工夫して行うことで、より多くの人に事業効果が還元されることを期待する。											

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	浜松メディカルラリー（医療者・市民・こども）
事業主体名 （共催、後援、協力等）	#こども救命士になろうプロジェクト （後援：浜松医科大学地域創成防災支援人材教育センター・ククデココ企業組合・春華堂）
実施時期	令和6年7月6日（土）・9月7日（土）・1月23日（木）
実施場所	早出幼稚園・浜松医科大学・うなぎパイファクトリー
参加人数	団体スタッフ 延べ 105 名 、参加者 合計 117 名
事業の内容	*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 救急医療に関わる医療従事者（医師・看護師・救急救命士）や一般市民が、出題された症例を実技で対応する。出題する医療者、それに対応する医療者や一般市民が医療スキル、防災技術を学び、チーム医療の質、防災リテラシーを上げる。さらに、患者役などを非医療従事者等（市民）が担当することで、参加する市民の災害医療などの医療に関する理解がすすむ、会社員向けに健康・安全をテーマにした内容を開催する。
事業目的の達成度	*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 8割 7月と2025年1月開催は、9割方目的は達成できた。近隣地域の住民や組織が関わってもらえればなおよかった。 9月開催は、医療者の参加者が目標の6割ほどであった。もっと、地域の医療者や他地域の医療者が関われる企画にしたい。
地域資源の活用度	*区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。 区内の医療機関に勤務する人材が、救急医療、防災知識を参加者へ十分に還元することができた。また、防災に関わる地元企業において、アピールの場になったと思う。
地域への貢献度	*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 防災や救急の知識や技術は、安全安心に暮らすために不可欠な知識や技術である。病気予防や社会的損失を防ぐことに繋がったと考える。また、医療者のスキルが上がることで、地域医療質の向上に繋がると考える。
財政支援の妥当性	*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 医療は、診療に予算があるが、事前に防ぐ予防や事前防災といった予算が少ない。地域に住む医療者の人材資源を存分に活用できた。
費用対効果	*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 今までこのような市民啓発のようなことは、ボランティアかイベント的に開催されてきて、実施者の手弁当であることがほとんどであった。医療者が適正な報酬を受けることができ、持続性のある活動であった。 また、社会貢献したい民間企業に対して、活動の理解がすすみ、次年度以降の協力が得られるためのアピールの機会となった。

今後の方向性	* 来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 地域医療の進展のため、市内の医療系学校の生徒に関わってもらい、地域の医療者の人材確保、若い世代の医療者の質向上に繋げる。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	221,000	221,000			地域力向上事業 (市民提案による 住みよい地域づく り事業費補助金)
計	703,094	703,094			

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	180,000	180,000			ブース長謝礼 30,000×6名=180,000
賃金	295,200 (内対象外 255,840)	295,200 (内対象外 255,840)			984円×10h×30名分 =295,200 ※補助対象経費の総額 の50%超過分は対象 外
消耗品費	120,106 (内対象外 3,300)	120,106 (内対象外 3,300)			各ブースにおける消耗 品、参加者景品他
手数料	500	500			紙幣、硬貨両替手数料 (参加費徴収用)
保険料	7,288	7,288			イベント保険
広告料	0	0			
委託料	0	0			
使用料及 び賃借料	100,000	100,000			会場使用料 早出幼稚園 50,000 うなぎパイファクトリ ー 50,000
補助対象 経費	443,954	443,954			
補助対象 外経費	259,140	259,140			
計	703,094	703,094			

助成事業 No. 8

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	利実り〜とぎみのり〜	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	NPO法人 伝承會											
(4)事業の目的	・市中心地に位置するも利用者が少なく、認知度の低い五社公園でイベントを開催することで、利町の認知度向上や周辺地域活性化を図る。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>利実り〜とぎみのり〜</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年11月3日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>五社公園</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・市周辺で活躍する飲食・物販45店舗によるマルシェの開催 ・浜松まつりの伝承に繋げていくため、浜松まつり会館と協力のもと、子供の風作り体験を実施し10組の親子が参加 ・団体スタッフ8名、来場者1,401名(事業提案時目標:来場者1,200名) </td></tr> </table>				イベント名	利実り〜とぎみのり〜	実施時期	令和6年11月3日(日)	実施場所	五社公園	内容	・市周辺で活躍する飲食・物販45店舗によるマルシェの開催 ・浜松まつりの伝承に繋げていくため、浜松まつり会館と協力のもと、子供の風作り体験を実施し10組の親子が参加 ・団体スタッフ8名、来場者1,401名(事業提案時目標:来場者1,200名)
イベント名	利実り〜とぎみのり〜											
実施時期	令和6年11月3日(日)											
実施場所	五社公園											
内容	・市周辺で活躍する飲食・物販45店舗によるマルシェの開催 ・浜松まつりの伝承に繋げていくため、浜松まつり会館と協力のもと、子供の風作り体験を実施し10組の親子が参加 ・団体スタッフ8名、来場者1,401名(事業提案時目標:来場者1,200名)											
(6)総事業費	450,727円	(7)補助金額	177,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
	5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・マルシェの開催や浜松まつり会館の協力による子供の風作り体験で、現地の五社公園は大変活気にあふれていた。来場者も目標人数をはるかに上回り、事業目的である利町や周辺地域の活性化に貢献した。 2 地域資源の活用度 ・中心市街地に位置する五社公園を有効活用した事業である。また、地元自治会やまつり会館、浜松復興記念館と協力するなど地元との協力体制が見受けられた。 3 地域への貢献度 ・地域の核となる居場所として、五社公園を中心に事業を行うことで、コミュニティの醸成に繋がるとともに公園の整備につながっている。幅広い年代層が興味を持てるように、45店のマルシェ出店を実現するなど多世代交流もできる仕掛けとなっている。 4 財政支援の妥当性 ・浜松まつりの伝承も目的としつつ、地元の五社公園の活用や、マルシェを開催するなど工夫が見受けられた。 5 費用対効果 ・周辺自治会の回覧協力やSNSの活用により、多くの来場者が訪れる事業となった。												

第 11 号様式（第 10 条関係）

事業実績書

事業名	利実り〜とぎみのり〜
事業主体名 (共催、後援、協力等)	共催：利町自治会 後援：浜松市復興記念館
実施時期	2024 年 11 月 3 日（土）10:00～15:00
実施場所	浜松市五社公園 静岡県浜松市中央区利町 302-7
参加人数	団体スタッフ 8 名、来場者 1401 名
事業の内容	・五社公園及び利町の認知度向上 ・浜松まつりの伝承
事業目的の 達成度	・風絵付け体験は 10 組参加となり数こそ少なかったですが、浜松まつりの伝承に貢献できたと考えます。 ・目標来場者数 1,200 名に対し、1,401 名と目標を大きく上回る結果となったので、目標を達成できたと考えます。 来場者様の会話が聞こえた際、「ここにこんな公園があるなんて知らなかった」や「この公園来たことがなかったけど、奥がこんなに素敵だったんだ」など五社公園の認知度向上、利町の認知度向上を達成できたと考えます。
地域資源の 活用度	・利町自治会および、浜松まつりに参加する伝承会メンバーにて実働を行い、利町の魅力を多くの方に感じていただけたと感じます。 当日参加できなかったメンバーもおりますが、準備段階から多数の人員が関わり運営いたしました。 ・復興記念館様にも本年もご協力いただき、普段入館する機会のない方にも足を運んでいただくことができました。
地域への 貢献度	・草が生い茂りやすい五社公園ですが、一番生い茂るタイミングで事業を実施できるので、地域の皆様にも利用していただきやすい環境を整備することができていると考えます。 草が多くなってしまうと、外から公園内の様子が見えなかったりごみのポイ捨てがあったりなど、環境が悪くなってしまうので、定期的に浜松市の職員の方にも、公園の状況が報告でき、貢献度の高い事業であると考えます。
財政支援の 妥当性	・浜松まつり会館さんにご協力いただき、ミニ風の絵付け体験を実施しました。 ・近隣の地区にイベント告知のチラシを回覧板にて配布し、地域の方により多くいらしていただくため、印刷製本費として使用しました。 ・本年度は選挙と重なってしまっていたため、市議会議員の皆様へのチラシの配布は控える形となり、浜松市との連携が昨年ほど実行できませんでした。

	来年度は、より浜松市と密接に関わった広報等を実施したいと考えます。
費用対効果	・Instagram 広告を流せず、チラシ等の印刷製本費が3万円程度でありましたが、多くのお客様が会場にお越しくくださったことから、かかった経費以上の事業効果はあったと考えます。
今後の方向性	・2025 年度も継続して実施していくつもりです。 会場のキャパシティや運営ボランティアの人数からも、本年度の規模で継続して行なうことが良いと考えます。
備考	

実施報告書

開催内容

タイトル：利実り～とぎみのり～

日時：2024年11月3日（日）

場所：浜松市五社公園

来場者数：約1401名

当日ボランティア:12名

4回目の開催となる利実りは45店舗の出店者様にご協力頂き
約1400名近くの来場者数と、多数のお客様にご来場頂きました。
五社公園北側の復興記念館様、中央地区社会福祉協議会様のご協力
浜松磐田信用金庫伝馬町支店様のご協賛もあり、
無事に開催することができました。

地域の伝統を伝承する目的として実施したミニ凧絵付け体験は
昨年よりも参加数が減少してしまいましたが、伝承の機会を提供とするばとなれたと感じます。
まだ余裕もあり宣伝不足であったとも考えますので、2025年度への
課題として検証していきます。

また、公園の一部が前日の大雨で陥没してしまいましたが、公園整備の大切さを
改めて確認できる機会となり、今一度市職員の皆様と日ごろからの連携が必要だと
実感いたしました。

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	177,000	177,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	450,727	464,332	32,600	△46,205	

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
賃金	167,440	165,312	2,128		当日ボランティア ¥984*8H*20人 =¥157,440- 撮影料¥10,000
賃金 (団体構成員)	78,720	78,720			¥984*10人*8H =¥78,720-
印刷製本費	139,953	135,000	4,953		印刷費¥31,953-/ デザイン料 ¥50,000-/当日資料作成費 ¥50,000-/タペス

					トリー代¥8,000-
消耗品費	1,034	20,000		△18,966	封筒¥924-/領収書¥110-
広告費	0	4,000		△4,000	
保険料	7,190	10,000		△2,810	イベント保険
郵便料	8,990	3,000	5,990		¥510*17/¥320*1
使用料 及び賃借料	47,400 (内対象外 5,100)	48,300 (内対象外 20,000)		△900	道路使用許可 ¥2,300-/会議室 (事前準備) ¥850*3H*2回 =¥5,100-/看板作 成費¥20,000-/ 備品リース料 ¥20,000-
補助金対象 外経費計	5,100	20,000			
補助対象経 費計	445,627	444,332			
計	450,727	464,332	13,071	△26,676	

助成事業 No. 9

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	中野吉之伴氏 サッカー指導者向け 実技講習会	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)									
(3)実施団体名	hamamatsu-play-park											
(4)事業の目的	・子供たちのスポーツ環境において、安心・安全で基本的人権を守りながら、サッカーの本質や楽しさが伝わるような指導力を地域指導者が身に付ける。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>中野吉之伴氏 サッカー指導者向け 実技講習会</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年8月2日(金)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>和地山公園球戯場</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・ドイツ在住の講師中野吉之伴氏による、小学校を中心にサッカー指導をしている指導者に向けたトレーニングの実技講習会 ・モデルプレーヤーとなる子供たちを募り、指導実践を実施 ・質疑応答の時間を多くとり、ドイツの育成現場を長く経験している講師から、地域の指導者が抱える課題解決のヒントを伝授 ・団体スタッフ3名、参加者17名(事業提案時目標:参加者20名) </td></tr> </table>				イベント名	中野吉之伴氏 サッカー指導者向け 実技講習会	実施時期	令和6年8月2日(金)	実施場所	和地山公園球戯場	内容	・ドイツ在住の講師中野吉之伴氏による、小学校を中心にサッカー指導をしている指導者に向けたトレーニングの実技講習会 ・モデルプレーヤーとなる子供たちを募り、指導実践を実施 ・質疑応答の時間を多くとり、ドイツの育成現場を長く経験している講師から、地域の指導者が抱える課題解決のヒントを伝授 ・団体スタッフ3名、参加者17名(事業提案時目標:参加者20名)
イベント名	中野吉之伴氏 サッカー指導者向け 実技講習会											
実施時期	令和6年8月2日(金)											
実施場所	和地山公園球戯場											
内容	・ドイツ在住の講師中野吉之伴氏による、小学校を中心にサッカー指導をしている指導者に向けたトレーニングの実技講習会 ・モデルプレーヤーとなる子供たちを募り、指導実践を実施 ・質疑応答の時間を多くとり、ドイツの育成現場を長く経験している講師から、地域の指導者が抱える課題解決のヒントを伝授 ・団体スタッフ3名、参加者17名(事業提案時目標:参加者20名)											
(6)総事業費	145,051円	(7)補助金額	71,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
	5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた参加者20名には届かなかったが、モデルプレーヤーとなる子供12名と協力し実施できた。 2 地域資源の活用度 ・市内各地よりアクセスが良い和地山グラウンドを会場とすることで、モデルプレーヤーを含む地域からの参加者を募ることができた。 3 地域への貢献度 ・市内の複数のサッカー指導者に対し、技術指導だけでなく子供たちの健全育成に係る指導も見受けられ、各指導者が地域に戻ってからの波及効果が期待できる。 4 財政支援の妥当性 ・指導者や保護者が勝利することに依存せず、純粋に子供がスポーツを楽しむことができるような指導方法を学ぶ機会の創出につながり、間接的に子供たちの健全育成の一助となり得る。 5 費用対効果 ・参加者が一流の指導者から学んだことを、地域の子供たちや他のコーチへ広く還元してくれることを期待する。												

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	中野吉之伴氏 サッカー指導者向け実技講習会
事業主体名 (共催、後援、協力等)	hamamatsu-play-park (協力: 中野吉之伴フッスバルラボ交流会、フットサルクラブ Sfida、R' sprts club、polarstar、浜松市サッカー協会)
実施時期	令和6年8月2日(金)
実施場所	和地山公園球技場
参加人数	団体スタッフ3名、参加者17名
事業の内容	*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 別紙参照 資料1: 実施報告書
事業目的の 達成度	*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 子どもたちのスポーツ環境において、安心・安全で基本的人権を守りながら、サッカーの本質や楽しさが伝わるような指導のアイデアや方法、接し方を目の当たりし、参加者も一緒に実技の実践を行うことで、身をもって体験することができた。(事業としての達成度 65%) この事業によって感じた事や得た知識を実際の現場で同じように再現することは難しいと思うが、心に残ったことを一つでも思い出して、地域の子どもたちへと還元して欲しい。(還元してくれることで、達成度は100に近づくとと思う)
地域資源の 活用度	*区内のどのような地域資源(特産品、自然、文化資産、人材など)をどの程度活用できたか記入してください。 市内各地より比較的アクセスしやすい和地山グラウンドを活用することで、近隣地域より沢山の方に参加していただけた。また、中央区中心にモデルプレーヤーの子どもたちの参加を募る事ができ、有意義となった。
地域への 貢献度	*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 子どもたちのスポーツする環境において、早い時期より指導者や保護者が勝利依存し、そのスポーツをする楽しみが置き去りにされたり、一部の子のみに偏っている状況に対する違和感や課題を参加者の皆さんと共有しながら、ドイツでの取り組みを具体的な報告を交えて中野氏より伺う事ができ、参考になったのではと思う。 また、スポーツ本来の“楽しさ”を中心としたトレーニング環境がいかに子どもたちにとって大切なものかを参加者一人ひとりに感じてもらうことが出来た。終了後アンケートで

	も前向きな回答が多く、それぞれの現場で実践していった欲しいと感じた。
財政支援の 妥当性	*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 ドイツで育成年代中心に、またいわゆるグラスルーツと言われる地域スポーツのクラブで20年の指導実績がある講師の方のお話しや指導実践は非常に参考になった。しかしながら、旧態依然の価値観が根強いスポーツ界において新しい考え方や指導法を学ぶ機会はまだまだ多いとは言えず、告知や費用面で行政の助成を受けながら事業を実施できたことに大きな意義があった。
費用対効果	*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 今回の事業で購入・使用した多数のミニゴールは、子どもたちのトレーニング環境においてより良い効果を発揮することが証明され、費用対効果が十分にあったと考えられる。また、地域ではまだまだ普及が進んでいないフニーニョ形式のトレーニング実践は、子どもたちがみるみる変化していくことを実際に感じる事が出来、今後それぞれの現場で実践してくれたら、費用以上の効果となるのでは、と期待している。
今後の方向性	*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 終了後のアンケートでは、フニーニョを取り入れた企画や子どもたちへのトレーニング実践など今後も中野氏に継続して関わっていただけるような企画の希望が多くあった。講習会を企画しながら、年間を通して子どもたちのスポーツ環境を保証する遊び場づくりの事業として継続していきたい。
備考	

第12号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	71,000	71,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	145,051	147,687		△2,636	

2 支出の部

単位：円

区分		決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報酬費		50,000	50,000			講師料 50,000 円×1名
賃金		5,904	8,856		△2,952	スタッフ報酬984×2人×3時間
旅費		9,020	9,020			講師交通費 4,510 円×2 (名古屋・浜松往復)
需用費	消耗品費	57,271	58,389		△1,118	折り畳みサッカーゴール 18,896 円×3 当日名札用養生テープ 303 円 マジック 140 円×2
	印刷製本費	8,800	8,000	800		ポスター、チラシ等印刷費
役務費	保険料	6,536	5,882	654		講師保険料 1,000 円 参加者保険料 5,536 円

使用料及び 賃借料	7,520	7,540		△20	グラウンド使用料 1,780 (2時間毎) ×2 照明 990 円 (30分毎) ×4
計	145,051	147,687		△2,636	

資料1:実施報告書

8月2日(金)18:30～21:00@和地山グラウンド

「中野吉之伴氏 サッカー指導者向け実技講習会」実施報告

☆特別講師として J.K.O.市原アカデミー代表池上正氏も実技指導に合流

・申込者18名、参加者17名(当日1名家庭都合で欠席)

(モデルプレーヤー12名) 合計29名

【参加者所属先】

浜松市立北星中学校

NPO法人スポーツコミュニティ磐田・ポーラスター

静大附属FC保護者

静大附属FC保護者

ブルーソレイユ/一般社団法人ASOBI

しもあおベース

なし

FC一宮シティ

浜松龍禅寺FC

FCポーラスター

浜松東サッカースポーツ少年団

浜松泉FC

浜松西部FC

浜松フットサルクラブ Sfida

【参加者居住地】

・浜松市内13名(幸町3名、和合町、野口町、鴨江、成子町、葵西、寺脇町、高塚町、雄踏、貴布祢、各1名、不明1名)

・磐田市2名

・藤枝市1名

・県外2名(愛知県、岐阜県)

【参加者属性】

・指導者14名

・保護者4名

助成事業 No. 10

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	レコードジャケット&トークショー	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	昭和のレコードを聴く会											
(4)事業の目的	・団塊の世代が聴いていたレコードの音楽やジャケットなどの魅力を、世代を超えて伝えることで地域のコミュニティ及び「音楽の都」を目指す浜松をより活性化させる。											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>レコードジャケット&トークショー</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和7年3月20日(木)～3月23日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>高台協働センター</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・レコードジャケット200点を音楽ジャンル別に展示 ・浜松で音楽活動をしているコメンテーターによるトークショーの実施 ・レコードの歴史的背景やアーティストについて解説しながら、160枚のレコードを流した。 ・団体スタッフ7名、来場者300名(事業提案時目標:来場者400名) ・YouTubeによるアーカイブ配信 </td></tr> </table>				イベント名	レコードジャケット&トークショー	実施時期	令和7年3月20日(木)～3月23日(日)	実施場所	高台協働センター	内容	・レコードジャケット200点を音楽ジャンル別に展示 ・浜松で音楽活動をしているコメンテーターによるトークショーの実施 ・レコードの歴史的背景やアーティストについて解説しながら、160枚のレコードを流した。 ・団体スタッフ7名、来場者300名(事業提案時目標:来場者400名) ・YouTubeによるアーカイブ配信
イベント名	レコードジャケット&トークショー											
実施時期	令和7年3月20日(木)～3月23日(日)											
実施場所	高台協働センター											
内容	・レコードジャケット200点を音楽ジャンル別に展示 ・浜松で音楽活動をしているコメンテーターによるトークショーの実施 ・レコードの歴史的背景やアーティストについて解説しながら、160枚のレコードを流した。 ・団体スタッフ7名、来場者300名(事業提案時目標:来場者400名) ・YouTubeによるアーカイブ配信											
(6)総事業費	475,807円	(7)補助金額	189,000円									
(8)評 価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
	5 費用対効果	高い	普通	低い								
(9)意見など												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた来場者数400名には届かなかったが、レコードを音楽ジャンルに分けたトークショー及びコメンテーターや来場者が交流を行う目的は達成された。 2 地域資源の活用度 ・浜松で活動している音楽関連の様々な人々をコメンテーターとして集め、普段聞けないような解説やレコードが発売された当時の話を聞く機会を創出した。 3 地域への貢献度 ・レコードを通じて、参加者同士による連帯感やコミュニケーションが生まれる場となった。アンケート結果からも来場者の満足度が高いことが伺える。 4 財政支援の妥当性 ・音楽文化の振興に繋がる事業であり、今後も音楽文化の周知、発展と地域住民による交流を育んでいくことに期待する。 5 費用対効果 ・多世代(10代～80代)が、レコードを通じて曲や発売された時代背景を振り返るなど、世代を超えて交流するイベントとなった。また、地域からの参加者も多く、コミュニケーションの場となった。												

第11号様式(第10条関係)

事業実績書

事業名	レコードジャケット&トークショー
事業主体名 (共催、後援、協力等)	昭和のレコードを聴く会 後援：浜松市（公財）浜松市文化振興財団 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社 FM Haro! K-MIX ウィンディ
実施時期	令和7年3月20日（木）～ 令和7年3月23日（日）
実施場所	浜松市高台協働センター 1階ホール
参加人数	団体スタッフ 7名、参加者 300名
事業の内容	昭和に発売されたレコードのジャケットを200枚展示して、浜松で音楽活躍をしている人をコメンテーターに招き、レコードにまつわる話をおきの話を語ってもらうトークショーを行った。 期間中の4日間、午前と午後の2時間ずつ音楽のジャンルごとにコメンテーターが曲の説明や発売された年代の世相などをスタッフと対談しながら約160枚のレコード聴いた。
事業目的の 達成度	コロナ禍を経て希薄になった人とひとのつながりや、多彩なジャンルのレコードを聴くことで共通の話題が生まれて、来場者の会話が弾むコミュニティの場所を提供することが出来た。 アンケートの感想に「とても楽しかった。若い時代が蘇りました。レコードの話が勉強になりました。」などの書き込みが多くあった。
地域資源の 活用度	コメンテーターは浜松で音楽活躍を行っている人で、 新海稔和：元浜名湖フォークジャンボリー実行委員長 三ツ井直樹：CMソングの作曲、レコーディング・エンジニア 藤田泰正：浜松ブルース振興会 会長 影山疾風：レコードの収集マニア（朝日テレビで放送） エッフェル青山：K-mix、FMハローのパーソナリティ 服部守悦：静岡文化芸術大学副学長 デザイン学部デザイン学科 教授 原田 実：ブルーノーツ ジャズ オーケストラ 代表 各音楽シーンでの知名度が高く、音楽の街を支えている人的資源と言える。
地域への 貢献度	高齢化による社会的な孤立や断絶など地域でのコミュニケーションが希薄になっている中で、会場では来場者同士がレコードのジャケットの話をするなど、同じ時代を共有している連帯感が生まれていた。若者世代を中心にレコードが「おしゃれ」という認識になっており、10代から80代の世代を超えた来場者がこのイベントで交流している様子をYouTubeで配信して、浜松の活性化に繋げていきたい。また、自宅ではかけられなくなったレコードを持参した提供者が3人いた。
財政支援の 妥当性	「音楽のまち・浜松」は市民によるアマチュアの音楽フェスティバルが盛んに行われており、その多くが無料で開催されている。 音楽のイベントを有料で行った場合には著作権の問題が発生するので、無料で開催するために市の地域振興の施策として費用の一部を支援で賄った。
費用対効果	会期中の来場者数は延べ300人ほどで、ブックレットの配布数が266部、アンケートの回収数が231枚であった。 アンケートの集計結果では、今回の事業について「良かった」が94%で、来場者の感想でも、「楽しかった」「また開催して欲しい」など好評であった。チラシやポスターは浜松市の各協働センターや図書館に配布し、住吉・和合の町内へは回覧をしたので、チラシ・ポスターでこの催しを知った人が46%であった。

今後の方向性	昨年の「レコードジャケット・アート展」や今回の「レコードジャケット&トークショー」での来場者から「続けてやって欲しい。」との声が多数あり、世代を超えた多くの人にレコードの魅力を伝え、地域のコミュニティを発展させるために来年も開催を計画したい。
備考	

第12号様式(第10条関係)

収支決算書

1 収入の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	189,000	189,000	0	0	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	475,807	474,060	1,807	0	

2 支出の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	80,000	80,000	0	0	トークショー出演者謝礼金 10,000円×8回
賃金	124,080	124,080	0	0	トークショースタッフ (司会、レコード操作、PA) 1,034円×6h×20回 124,080円
印刷費	121,000	110,000	11,000	0	チラシ2000枚33,440円 ポスター100枚22,000円 ガイドブックレット400冊 54,560円 デザイン修正費用11,000円
消耗品費	11,987	11,000	987	0	レコードクリヤーカバー 5袋 5,995円 来場者提供用飲料 5,992円
通信費	0	2,100	0	△2,100	
委託料	66,000	66,000	0	0	録画、編集、YouTube 配信委託料 66,000円

使用料及 び賃借料	72,740	80,880	0	△8,140	撮影機材レンタル代 22,000 円 高台協働センター ホール使用料（一般団体） 3/19 日 18 時～23 日 18 時まで 50,740 円
計	475,807	474,060	11,987	10,240	

助成事業 No. 11

< 令和6年度 > (中央区 区振興課)

(1)事業名	虹彩よさこい	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)																									
(3)実施団体名	虹彩よさこい実行委員会																											
(4)事業の目的	「虹彩よさこい」イベントを通して、浜松に「よさこい踊り」の文化の継承と普及を目的とし、老若男女をターゲットに関心を高め、よさこい人口を増やしコミュニティの輪を広げ地元チームの活動の活性化を図る。 - 浜松駅周辺で開催することにより、中心市街地ににぎわい創出及び活性化を図る。																											
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>虹彩よさこい</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和7年3月9日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>キタラ、ソラモ、松菱跡地</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> - 静岡県内外で活動するよさこいチーム42団体による演舞、総踊りの披露。 - よさこい衣装によるファッションショー - 飲食ブース、地元協賛企業によるブース出展、フォトコンテストを同時開催 - 団体スタッフ約80名、参加者約1,000名/42団体、来場者約3,000名(事業提案時目標: 1,100名/50団体、来場者3,000名) </td></tr> </table>			イベント名	虹彩よさこい	実施時期	令和7年3月9日(日)	実施場所	キタラ、ソラモ、松菱跡地	内容	- 静岡県内外で活動するよさこいチーム42団体による演舞、総踊りの披露。 - よさこい衣装によるファッションショー - 飲食ブース、地元協賛企業によるブース出展、フォトコンテストを同時開催 - 団体スタッフ約80名、参加者約1,000名/42団体、来場者約3,000名(事業提案時目標: 1,100名/50団体、来場者3,000名)																	
イベント名	虹彩よさこい																											
実施時期	令和7年3月9日(日)																											
実施場所	キタラ、ソラモ、松菱跡地																											
内容	- 静岡県内外で活動するよさこいチーム42団体による演舞、総踊りの披露。 - よさこい衣装によるファッションショー - 飲食ブース、地元協賛企業によるブース出展、フォトコンテストを同時開催 - 団体スタッフ約80名、参加者約1,000名/42団体、来場者約3,000名(事業提案時目標: 1,100名/50団体、来場者3,000名)																											
(6)総事業費	4,171,378円	(7)補助金額	1,850,000円																									
(8)評 価	項 目	ランク <table border="1"> <tr> <td></td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr> <tr> <td>1 事業目的の達成度</td><td>高い</td><td>普通</td><td>低い</td></tr> <tr> <td>2 地域資源の活用度</td><td>高い</td><td>普通</td><td>低い</td></tr> <tr> <td>3 地域への貢献度</td><td>高い</td><td>普通</td><td>低い</td></tr> <tr> <td>4 財政支援の妥当性</td><td>高い</td><td>普通</td><td>低い</td></tr> <tr> <td>5 費用対効果</td><td>高い</td><td>普通</td><td>低い</td></tr> </table>				A	B	C	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い	3 地域への貢献度	高い	普通	低い	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い	5 費用対効果	高い	普通	低い
	A	B	C																									
1 事業目的の達成度	高い	普通	低い																									
2 地域資源の活用度	高い	普通	低い																									
3 地域への貢献度	高い	普通	低い																									
4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い																									
5 費用対効果	高い	普通	低い																									
(9)意見など																												
1 事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた参加チームの応募には届かなかったが、3,000名もの来場者があり、中心市街地のにぎわいを創出した。 2 地域資源の活用度 ・来場者がまちなかを回遊する仕掛けとして、会場をソラモなどの3箇所とすることで、中心市街地の活性化に寄与した。 3 地域への貢献度 ・全国各地から1,000人もの踊り子たちが集まり、浜松をPRすることにつながった。また、来場者や踊り子たちの飲食や宿泊の副次的効果も一定程度認められる。 4 財政支援の妥当性 ・市の玄関口における大々的なイベントは、関係人口の創出を期待できる。 5 費用対効果 ・前回開催からエリアを広げたことで、街全体を含めたにぎわいを創出した。今後も継続することで浜松を代表するイベントとなることを期待する。																												

第 1 1 号様式（第 1 0 条関係）

事業実績書

事業名	虹彩よさこい
事業主体名 (共催、後援、協力等)	虹彩よさこい実行委員会 【後援】 浜松市／静岡新聞社・静岡放送／K-MIX／FM Haro!／はままつフルーツパーク時之栖／浜松商工会議所／浜松まちなかにぎわい協議会／一般社団法人浜松商店界連盟 【共催】 よさこい遠州連合会（YEN） 【協力】 株式会社アサヒコーポレーション／YOSA バカ実行委員会
実施時期	2025 年 3 月 9 日（日）
実施場所	浜松駅北口広場キタラ・ギャラリーモールソラモ・松菱跡地
参加人数	団体スタッフ 約 80 名、参加者 42 団体 約 1,000 名、集客／約 3,000 人
事業の内容	＊実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 ・静岡県内外で活動するよさこいチーム 42 団体によるチーム演舞、総踊り披露。 ・自慢の衣装を披露するファッションショー企画の開催。 ・飲食ブース展開（場所：キタラ・松菱跡地）静岡県飲食業生活衛生同業組合浜松支部協力 ・よさこいとはまた別の文化である市内で活動するエイサーと和太鼓チームを招致しパフォーマンス披露。 フォトコンテストの開催。 ・企業ブース展開（ローランド ディー. ジー. 株式会社協力） ・浜松銘菓プレゼント企画
事業目的の 達成度	＊当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 浜松駅周辺 3 会場で開催することにより、目的を持って足を運んだ人以外の、一般のお客様の足も止めて、よさこいを観覧していただく機会を設けることができたのでは。準備したパンフレットがすぐに捌けてしまう事態となった。 よさこいだけではなく、地域と協力して開催する事業として浜松の P R にも繋がった。 ただ、参加チームを 50 チーム募集予定だったが他地域でのイベントが被る事態となり 42 チームと減少することとなってしまった。
地域資源の 活用度	＊区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。 イベント会場を駅周辺を利用することにより目的を持って中心市街地へ足を運んでいただくことができ、よさこいの楽しさ、魅力を感じてもらうことができた。 中央区にて活躍されるパフォーマンス団体を招致することでよさこい界限で知られていない浜松の魅力の一つをお届けすることができた。

地域への 貢献度	＊事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 「がんこ祭り」を知らない層に浜松にもよさこいの祭りがあることの周知に繋がることができた。アンケート結果より、ホテル泊、中央区にておいての飲食の活用をしていることが分かり、「がんこ祭り」に届くところまではいかないものの、開催したことで効果をもたらすことができた。
財政支援の 妥当性	＊行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 事業拡大にあたり新会場を松菱跡地に設置したことにより、ステージを設置し大々的に開催することができた。1会場分の利用費及び備品、今後継続して開催するにあたり応用できるバナースタンド等に活用。
費用対効果	＊事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 今回の事業への補助があったからこそ新しい会場を増やすことができ、さらにはステージの設置をすることができた。参加者からは大きなステージに対する喜びと、新会場が敷地内だからこそ人の流れを気にせずに楽しむことができた安心感の提供をすることができた。今後、さらに人を集め、浜松をよさこい一色に成長させていきたい願いがある中で良い印象を与えることができたのではと感じている。
今後の方向性	＊来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 当日配布したパンフレットが午前中のうちに捌けてしまった。たくさんのお客様に求められることとなり、継続し、さらにたくさんの方によさこいの魅力を知っていただく場と、踊り子の皆さんに披露する場を提供していきたい。 いずれは浜松の3月の名物にしていくのを目標に地域と連携をとり成長をさせていきながら継続をしていきたい。
備考	

第 12 号様式（第 10 条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	1,850,000	1,850,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	4,171,378	4,171,378			

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	385,350 ※交付対象 370,000	385,350 ※交付対象 370,000			クリエイター経費 (WEB) 50,000 クリエイター経費(広告) 180,000 ダンサー指導料 100,000 地域団体報酬 20,000 撮影依頼料 20,000 [対象外]ダンサー御礼 15,350
旅費	43,766 ※交付対象 31,640	43,766 ※交付対象 31,640			ダンサー講師レッスン 交通費 31,640 [対象外]外部打ち合わせ交通費 12,126

需 要 費	消耗 品	444,506 ※交付対象 350,713	444,506 ※交付対象 350,713			イベントで使用する各 種消耗品、景品等 [対象外]ガチャマシン 等 93,793
	印刷 製本 費	250,114 ※交付対象 73,451	250,114 ※交付対象 73,451			パンフレット [対象外]パンフレット 等 176,663
	医療 材料 費	2,380 ※交付対象 2,380	2,380 ※交付対象 2,380			会場救急セット踊り子 用
	食料 費	7,649 ※交付対象 0	7,649 ※交付対象 0			[対象外]業者弁当代等 7,649
役 務 費	保 険 料	36,275 ※交付対象 36,275	36,275 ※交付対象 36,275			イベント保険
	郵 送 費	15,006 ※交付対象 0	15,006 ※交付対象 0			[※対象外]報告書郵送 費等 15,006
委託料		2,577,080 ※交付対象 2,577,080	2,577,080 ※交付対象 2,577,080			PA 533,500 会場警備員 237,600 レンダー商会 1,805,980
使用料及 び賃借料		409,252 ※交付対象 302,362	409,252 ※交付対象 302,362			施設利用料 263,862 [※対象外]ダンスレッ スン場所 103,110 [※対象外]レンタルス マホ 3,780 ゴミ処理 38,500
計		4,171,378 ※交付対象 3,743,901	4,171,378 ※交付対象 3,743,901			

令和7年5月28日

中央区協議会（中地域分科会）

会長 鈴木 義明 様

富塚地区コミュニティ協議会 会長 井口隆夫

富塚地区のゾーン 30 プラス指定及び地区内の交通安全対策に
関する要望について

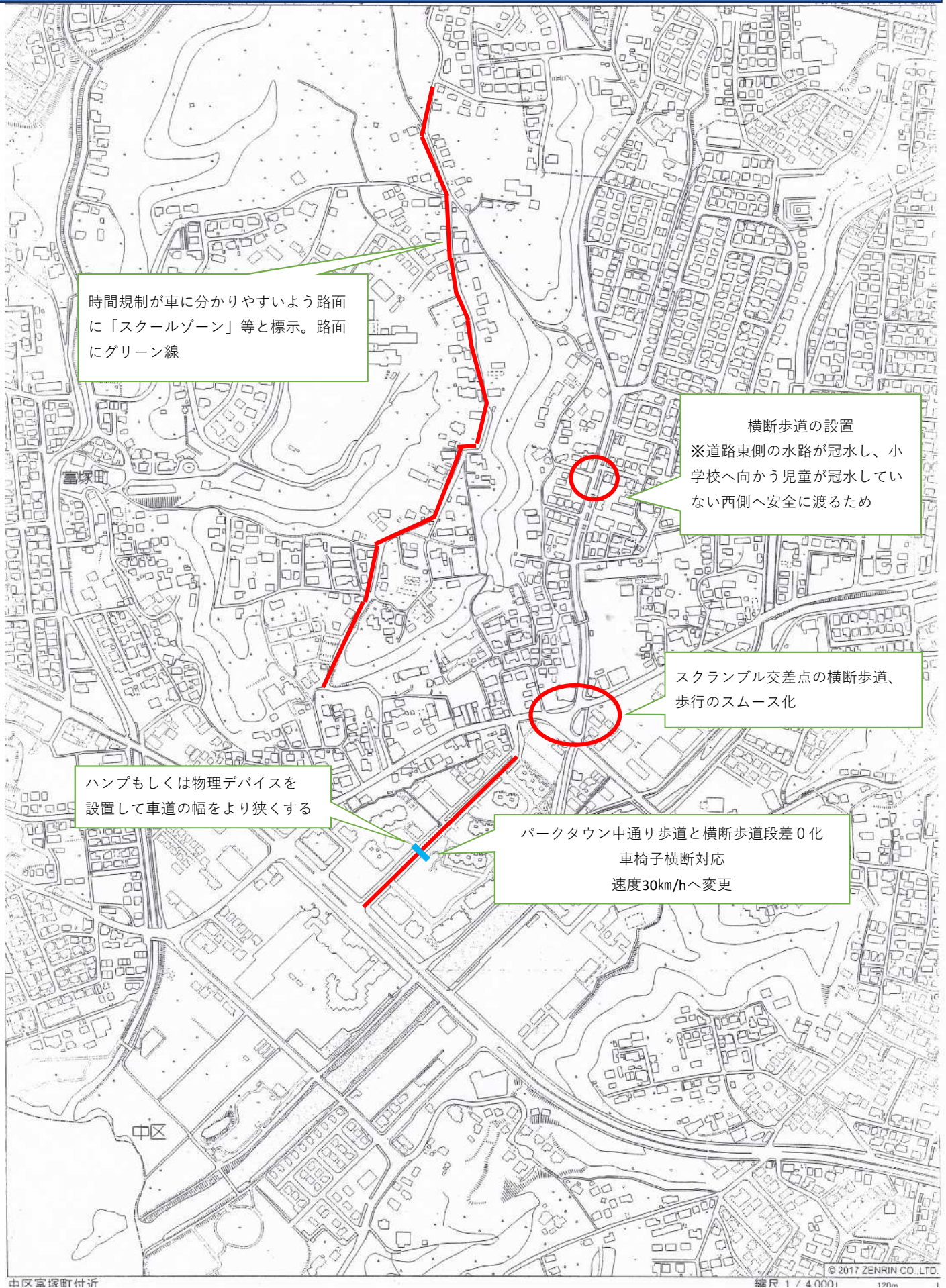
（趣旨）

- ・ 通り抜け車両が生活道路や子どもたちの通学路に進入し、歩行者の安全確保や交通事故を防止するため、進入抑制、速度抑制対策が必要である。

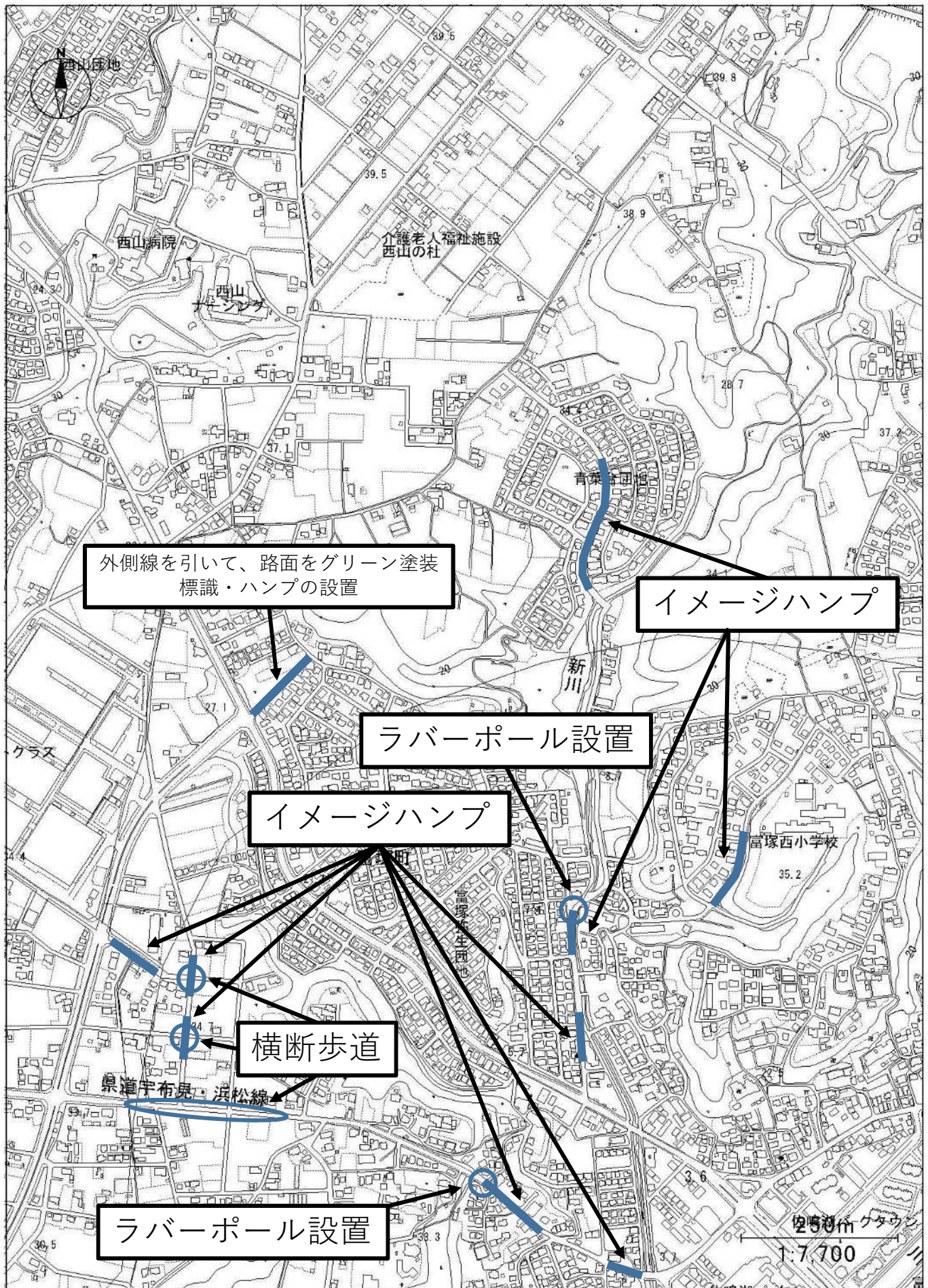
（要望内容）

- ・ 富塚地区において、交通安全対策として行政・警察・学校等と連携し協議を進めてまいりました。
つきましては、速やかにゾーン 30 プラスの指定及びそれに伴う地区内の交通安全対策について要望するもの。
※交通安全対策を希望する箇所や設置する物理デバイス、ゾーン 30 プラスの概要については別紙のとおり。

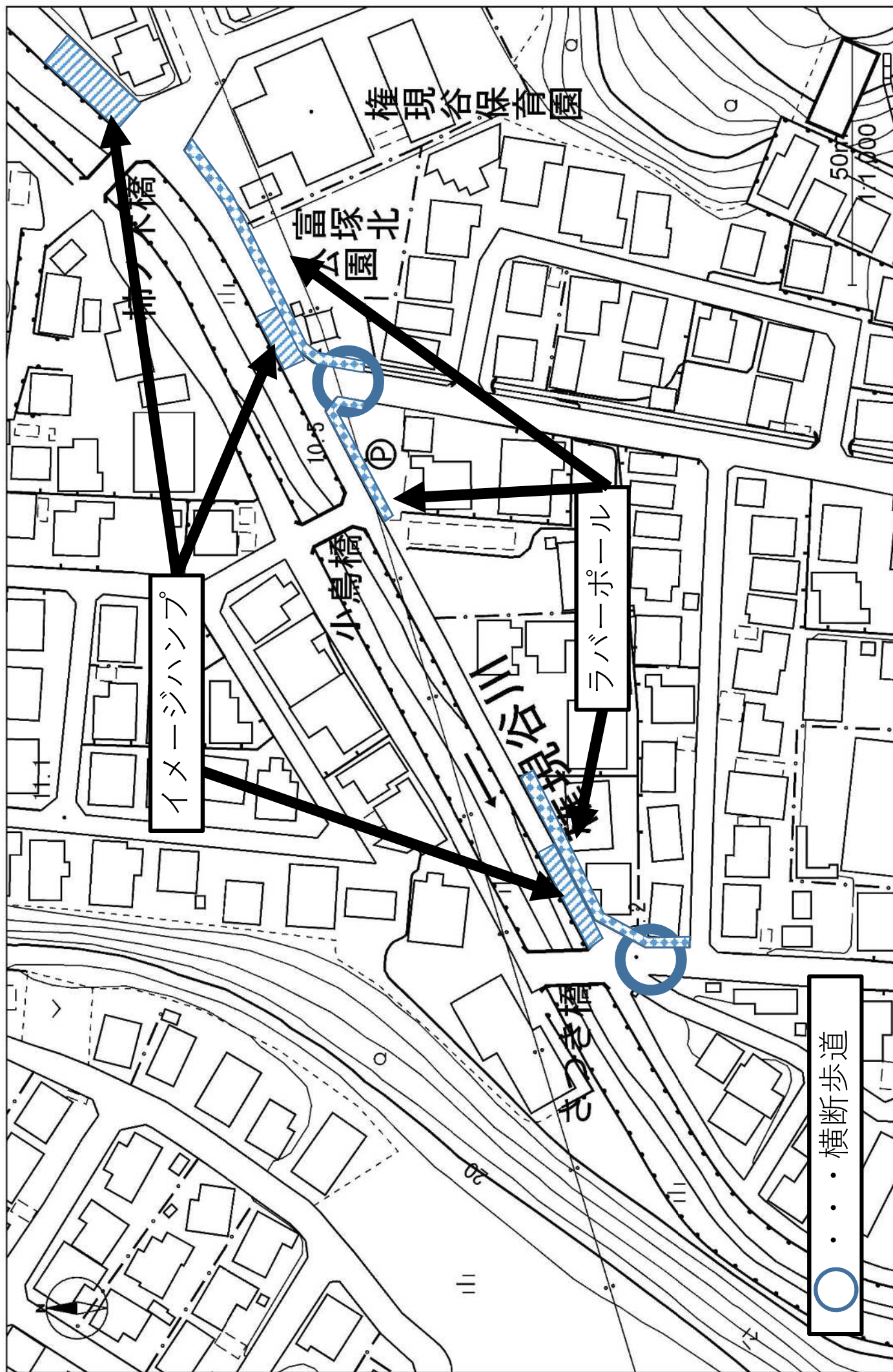
ゾーン30プラス 交通安全対策要望箇所（富塚町中自治会）



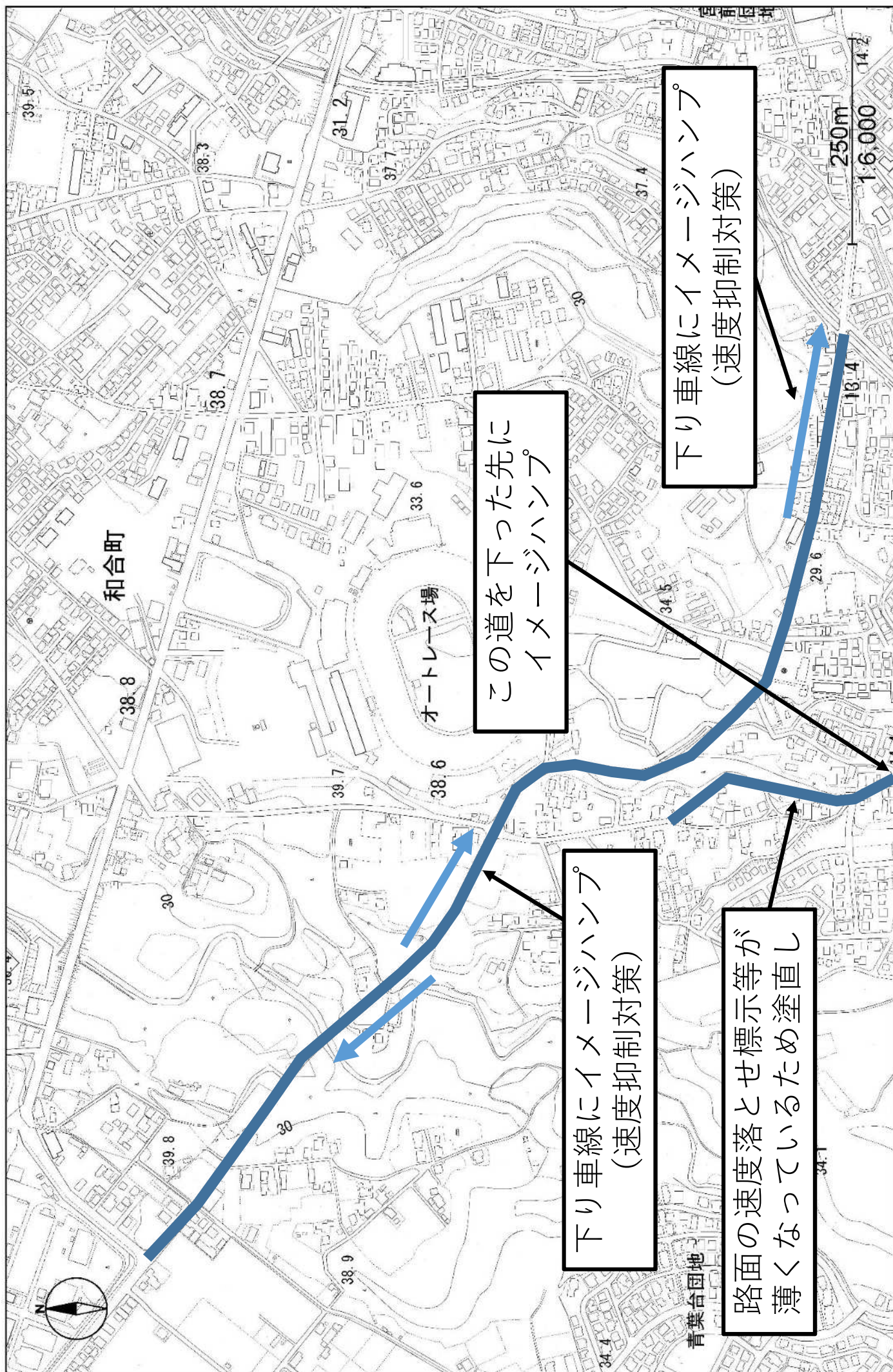
ゾーン30プラス 交通安全対策要望箇所（富塚町西自治会）



ゾーン30プラス 交通安全対策要望箇所（富塚町北自治会）



ゾーン30プラス 交通安全対策要望箇所（西和自治会）



さんじゅう

ゾーン30プラス

～交通事故のない生活道路を目指して～

最高速度30km/hの
区域規制が実施されています！

この道路区域内には
物理的デバイスが設置されています！



歩行者の飛び出し等に
より一層の注意をお願いします！

抜け道としての利用は
ご遠慮ください！



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



警察庁

National Police Agency

「ゾーン30プラス」の必要性

●生活道路における交通事故の発生状況

交通事故発生件数と車道幅員5.5m未満道路の交通事故発生率の推移

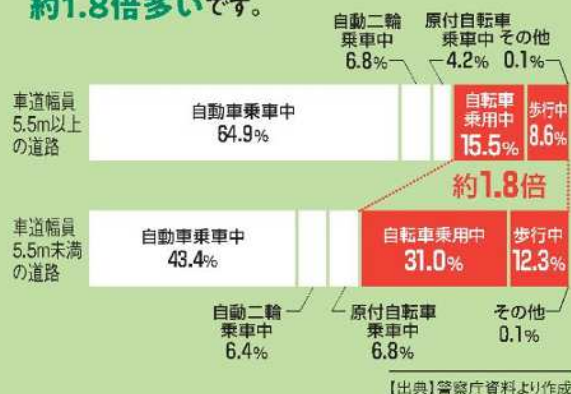
全国における交通事故(人身事故)発生件数は年々減少していますが、

車道幅員5.5m未満の道路における**交通事故発生件数の減少率は鈍化**しており、全事故発生件数に占める割合は横ばいで推移しています。



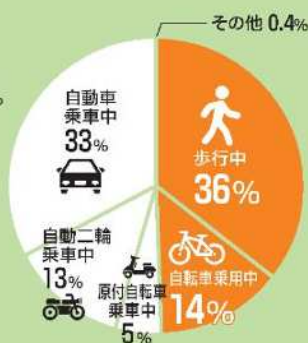
車道幅員別・状態別交通事故死傷者数(令和3年中)

車道幅員5.5m以上の道路における歩行者・自転車乗用中の死傷者の割合と比較して、車道幅員5.5m未満の道路は**約1.8倍**多いです。



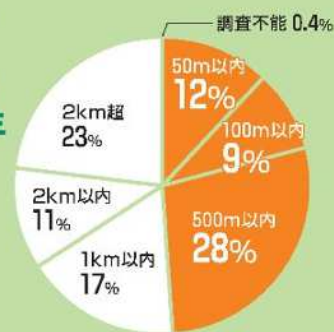
交通事故死者の状態別割合(令和3年中)

交通事故死者数の約半数が**歩行中・自転車乗用中**です。



自宅からの距離別死者数の割合(令和3年中)

歩行中・自転車乗用中の交通死亡事故の、約半数は**自宅から500m以内**で発生しています。



自動車等の速度と歩行者の致死率

自動車等の速度が30km/hを超えると、歩行者の**致死率が急激に上昇**します。

【出典】警察庁資料より作成

※1 「自動車等」とは、自動車、自動二輪及び原動機付自転車をいう。
 ※2 平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の半路で発生した人対車同事故の分析による。
 ※3 致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。



●物理的デバイス設置による効果(各地(36都道府県)で設置したスムーズ横断歩道の設置効果検証結果)

30km/hを超えて走行した自動車の割合

30km/hを超えて走行する自動車の**割合が低下**しました。



横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合の自動車の**停止・減速割合が向上**しました。



※1 「30km/hを超えて走行する自動車の割合」は異常値を排除するため最大・最小値から各2.5%の値を排除している(信頼区間95%)。
 ※2 「横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合」は歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場合に通行した自動車を対象としている。

生活道路の新たな交通安全施策「ゾーン30プラス」

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンプ等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定し、道路管理者と警察が連携しながら整備を進めています。



① 進入抑制対策



ライジングボラード

ボールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物です。



狭さく

車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。

② 速度抑制対策



ハンプ

路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。



シケイン(クランク型)

一定区間の道路を直線的に屈曲させ、車両の速度を抑制する構造です。



スムーズ横断歩道

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。

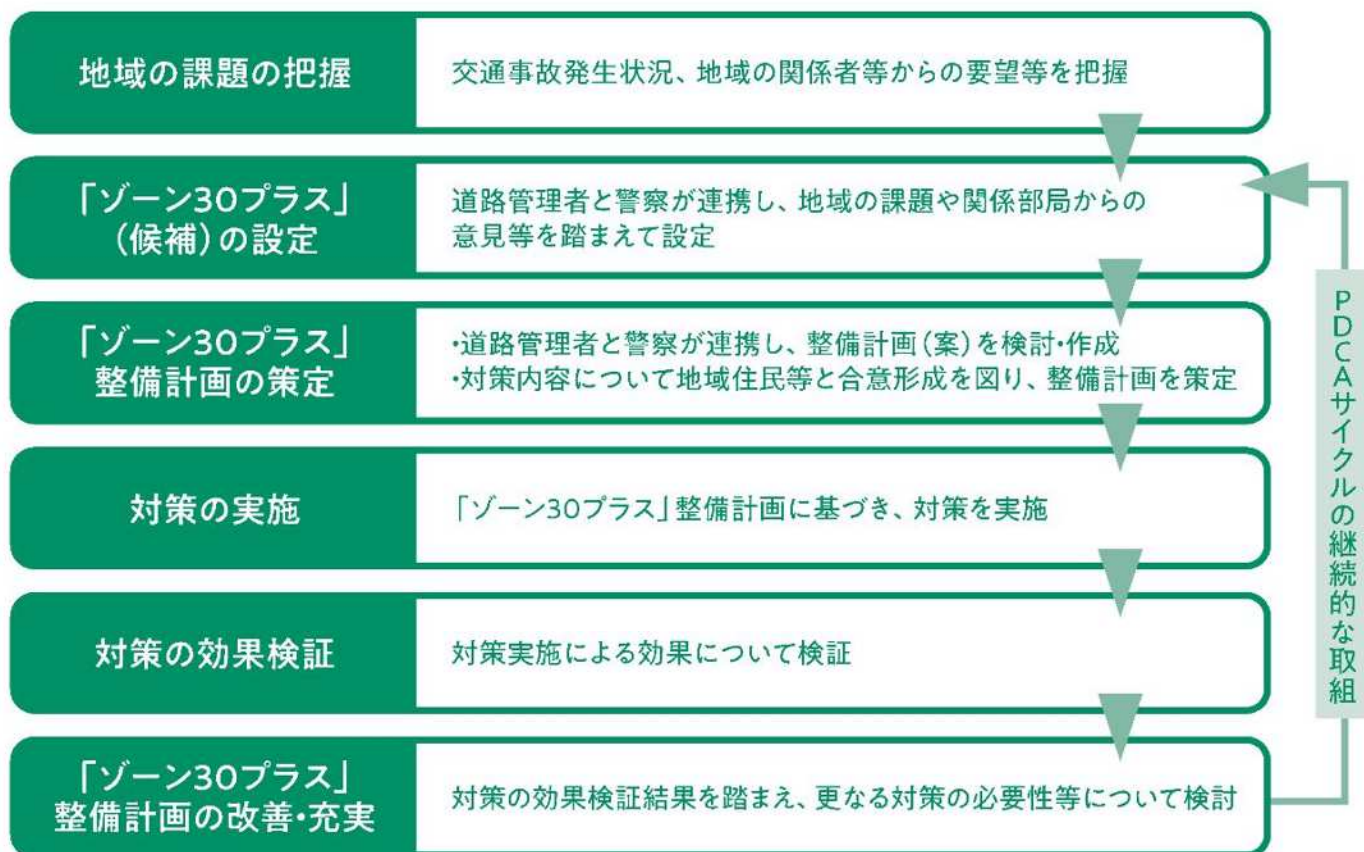


シケイン(スラローム型)

一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造です。



「ゾーン30プラス」の取組フロー (道路管理者・警察)



「ゾーン30プラス」に関するよくあるご質問

Q1 「ゾーン30」と「ゾーン30プラス」の具体的な違いは何ですか？

A1 「ゾーン30」は、警察(公安委員会)による最高速度30km/hの区域規制が主な対策でしたが、「ゾーン30プラス」では、道路管理者と警察が検討段階から緊密に連携しながら、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組み合わせにより交通安全の向上を図り、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備に取り組むものです。

Q2 物理的デバイスを設置するとどのような効果が期待されますか？

A2 ハンプやスモーズ横断歩道は、30km/hを超えて走行する車両の運転者に不快感を与えることで速度や抜け道利用を抑制する効果が期待できます。また、スモーズ横断歩道を設置した箇所では、自動車が、横断歩道を横断し、又は横断しようとする歩行者等へ道を譲る確率が向上することが確認されています。狭さくやシケインは、道幅の一部を狭くしたり、カーブさせた形状としたりすることで、車両の走行速度や抜け道利用を抑制する効果が期待できます。

Q3 物理的デバイスを試験的に設置することは可能ですか？

A3 取り外し可能なハンプやロードコーン等を活用することにより、物理的デバイスを試験的に設置することが可能です。(国土交通省では、地方公共団体へ取り外し可能なハンプの無償貸与を行っています。)
なお、いずれも設置するには課題等がある道路の道路管理者に相談していただく必要があります。

「生活道路の交通安全対策ポータル」でも役に立つ情報を発信中

生活道路の交通安全対策ポータル <https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html>

ゾーン30プラス



「ゾーン30プラス」整備計画(静岡県浜松市 中央区飯田町地区)

■地区

- ・静岡県浜松市 中央区飯田町地区

■主な対策内容

【警察(浜松東警察署(TEL:053-460-0110))】

- ・最高速度30km/h区域規制

【道路管理者(浜松市土木部道路企画課(TEL:053-457-2232))】

- ・スムーズ横断歩道、ハンプ、狭さく など

※対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。

■推進体制

対策検討会

- ・浜松東警察署
- ・浜松市
- ・関係自治会：飯田町西、飯田町田畑
飯田町開戸、飯田新田
飯田上組、南天竜

■対策の実施状況



スムーズ横断歩道



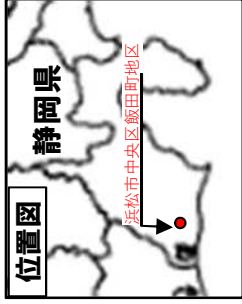
ハンプ



狭さく



路肩の拡幅



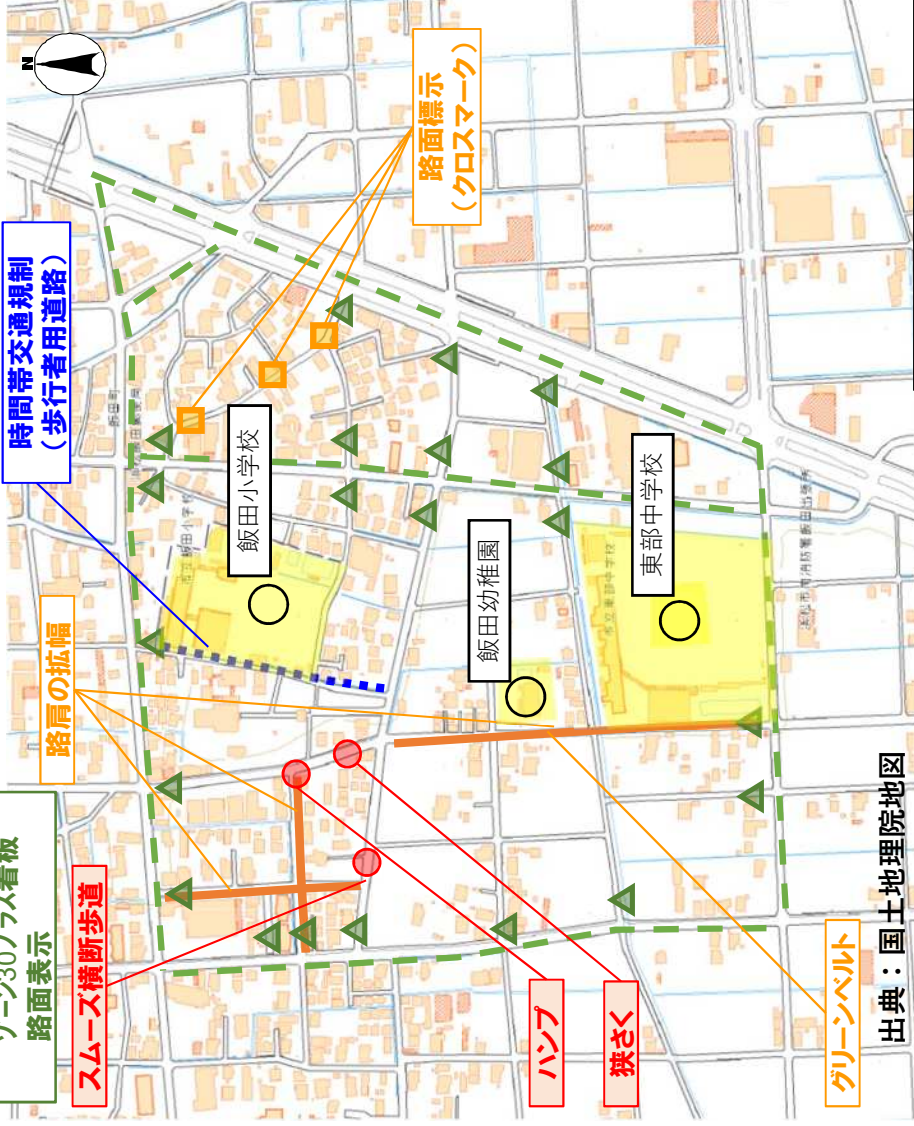
最高速度30km/h区域規制

ゾーン30プラス看板
路面表示

スムーズ横断歩道

路肩の拡幅

時間帯交通規制
(歩行者用道路)



出典：国土地理院地図

凡例

ゾーン30プラス
看板・路面表示

※破線は整備区域に含まれない道路

物理的デバイス
対策済
対策予定

規制等
対策済
対策予定

ゾーン30プラス 看板・路面表示	対策済	対策予定
その他ハード対策	対策済	対策予定
ソフト対策	実施中	実施予定

「ゾーン30プラス」整備計画（静岡県浜松市 中央区長上地区）

令和6年3月末時点

■地区

- ・静岡県浜松市 中央区長上地区

■主な対策内容

【警察（浜松東警察署（TEL:053-460-0110））

- ・最高速度30km/h区域規制 交通指導取締り

【道路管理者（浜松市土木部道路企画課（TEL:053-457-2232））

- ・ハンブ、イメージハンブ など

※対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。

■推進体制

対策検討会

- ・浜松東警察署
- ・浜松市
- ・関係自治会：天王町西、市野町南

■対策の実施状況



ハンブ



車道幅員の狭小

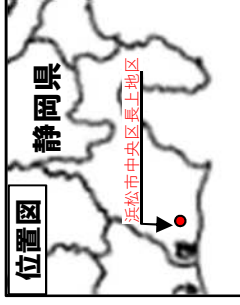


イメージハンブ

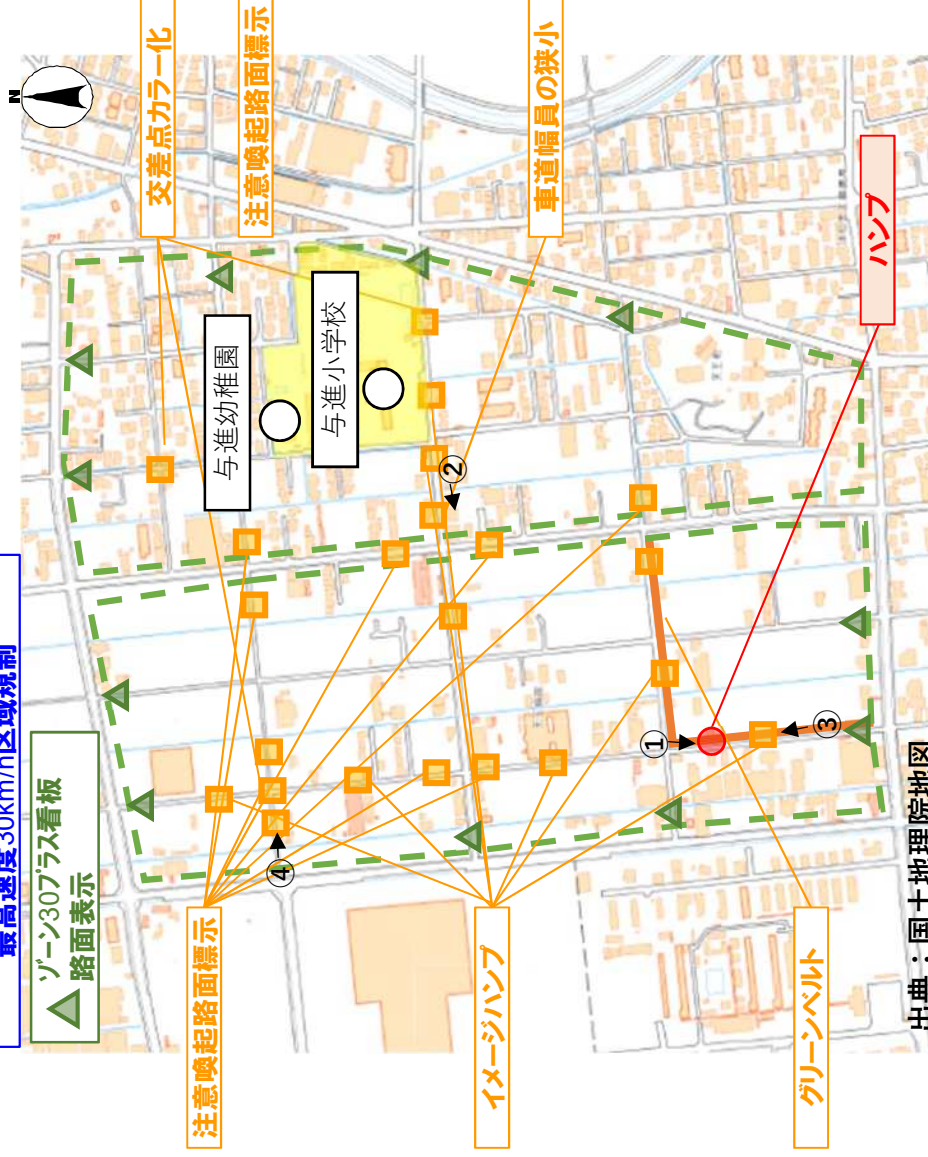


注意喚起路面標示（止まれ強調）

※ 今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。（PDCAサイクルの継続的な取組）



最高速度30km/h区域規制



出典：国土地理院地図

凡例		ゾーン30プラス		ゾーン30プラス看板 路面表示	
物理的デバイス		対策済	対策予定	対策済	対策予定
規制等		対策済	対策予定	対策済	対策予定
その他ハード対策		対策済	対策予定	対策済	対策予定
ソフト対策		実施中	実施予定	実施中	実施予定

